

狭山市地域福祉推進計画  
市民アンケート調査報告書

平成29年1月

狭山市、社会福祉法人狭山市社会福祉協議会

# 目 次

第1節 調査の概要	・・・	1
第2節 調査の結果	・・・	2
（1）回答者に関する基本的な情報	・・・	2
（2）あなたの家族と身の回りに関すること	・・・	5
（3）あなた自身が抱える「悩み・不安」に関すること	・・・	9
（4）ご近所づきあいや自治会活動に関すること	・・・	12
（5）地域活動に関すること	・・・	18
（6）大規模災害を教訓とした今後の活動に関すること	・・・	24
（7）身近に感じる地域に関すること	・・・	26
（8）地域福祉の推進状況に関すること	・・・	32
（9）自由意見	・・・	34

# 市民アンケート調査中間報告

## 第1節 調査の概要

### (1) 調査の目的

狭山市地域福祉推進計画の中間評価にあたり、狭山市民の福祉に関する意識及び潜在的なニーズ等を把握するとともに、今後の地域福祉に関する計画のあり方を検討するための基礎資料とすることを目的に実施しました。

なお本報告は、単純集計結果をまとめた経過的報告であり、今後、クロス集計等、必要な分析を加えた最終報告を行う予定です。

### (2) 調査対象者

1,987名（狭山市在住の20歳以上の方から無作為に抽出しました。）

### (3) 調査方法

郵送配布・郵送回収

### (4) 調査期間

平成28年9月20日（火）から10月21日（金）まで

### (5) 回収結果

- ① 配布数： 1,987票
- ② 有効回収数： 830票
- ③ 回収率： 41.8%

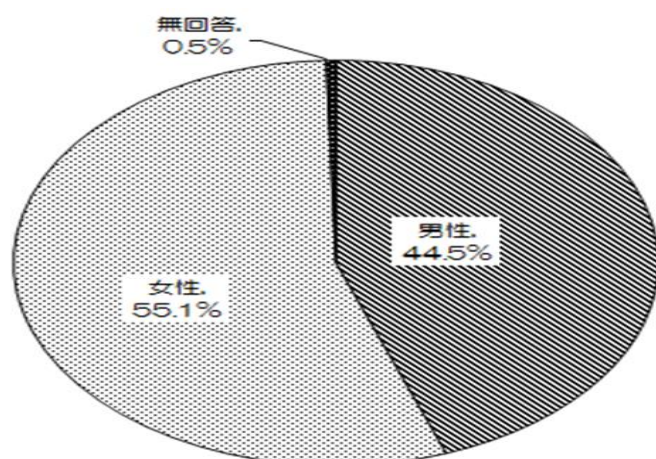
### (6) 注意事項

- ① 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。四捨五入の関係で、合計が100%にならない場合があります。
- ② 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常の100%を超えます。
- ③ 選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いることがあります。

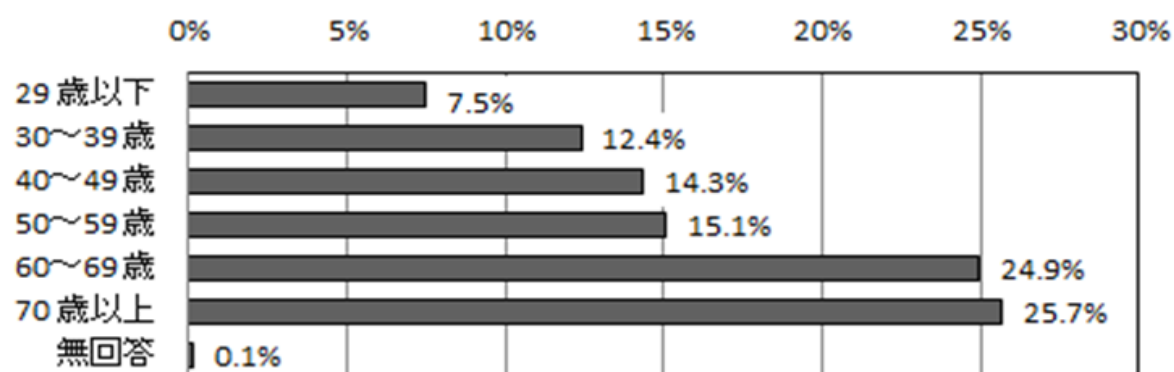
## 第2節 調査の結果

### (1) 回答者に関する基本的な情報

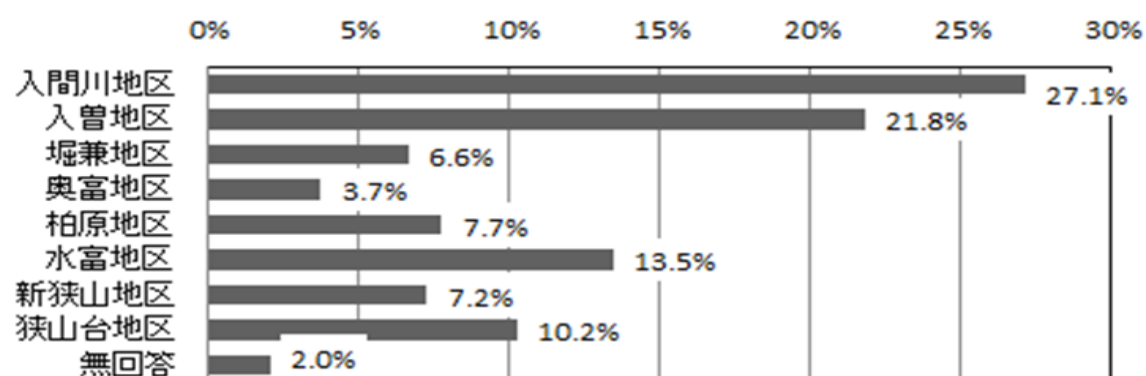
問1 性別



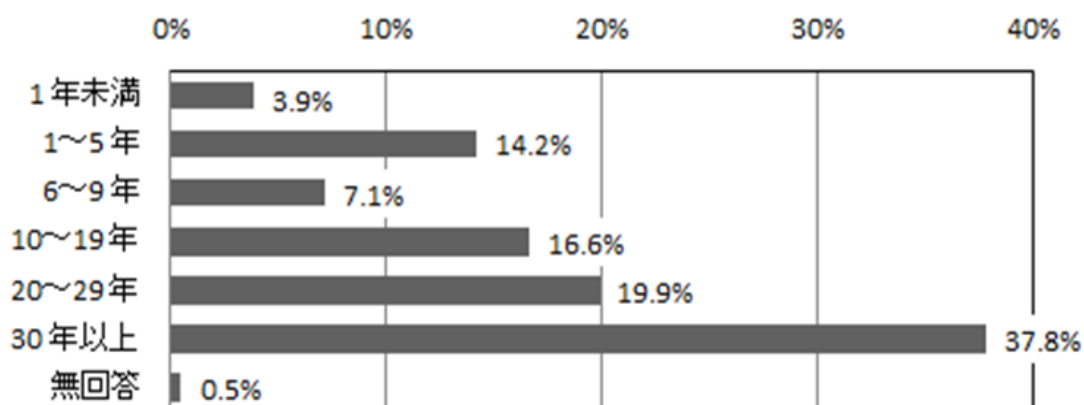
問2 年齢層



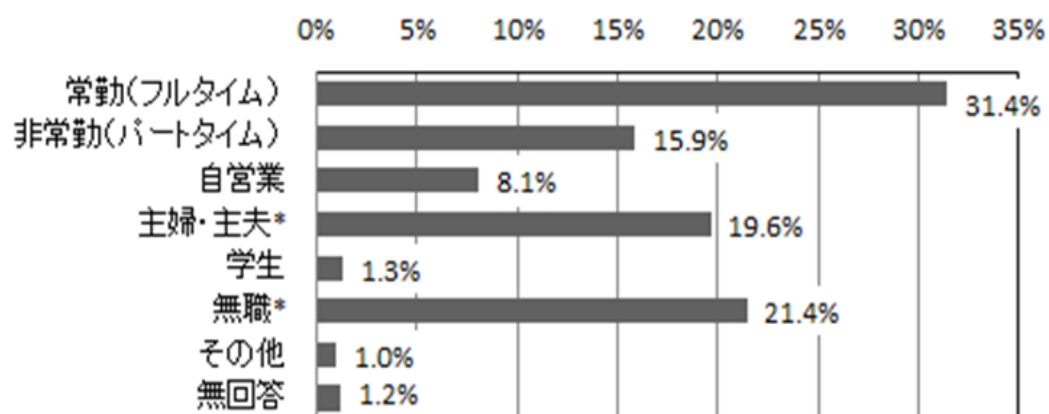
問3 居住地区



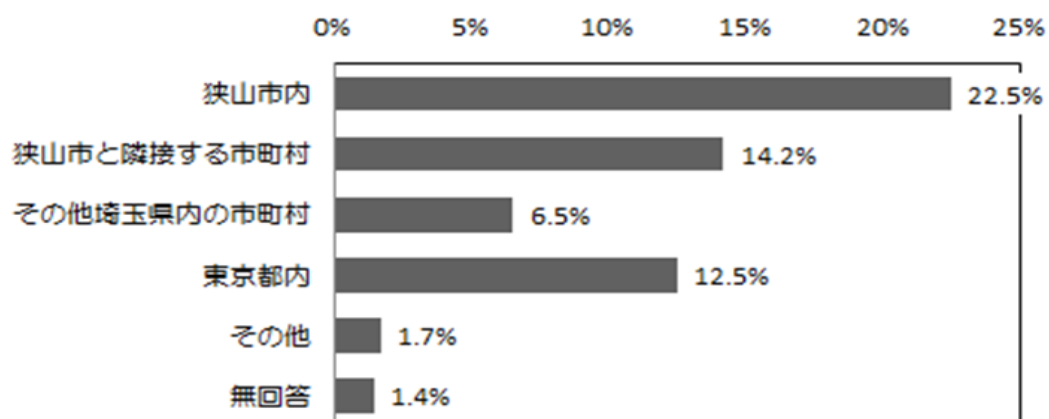
問4 現住所の居住年数



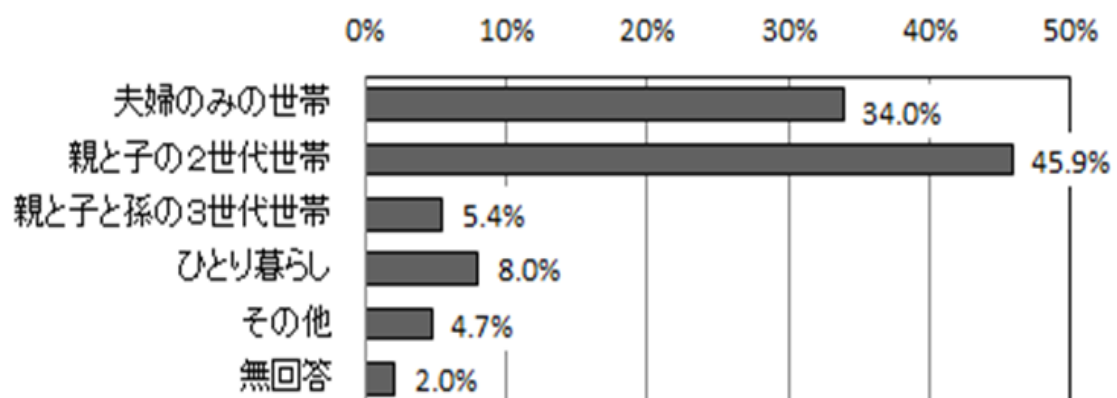
問5 就労状況



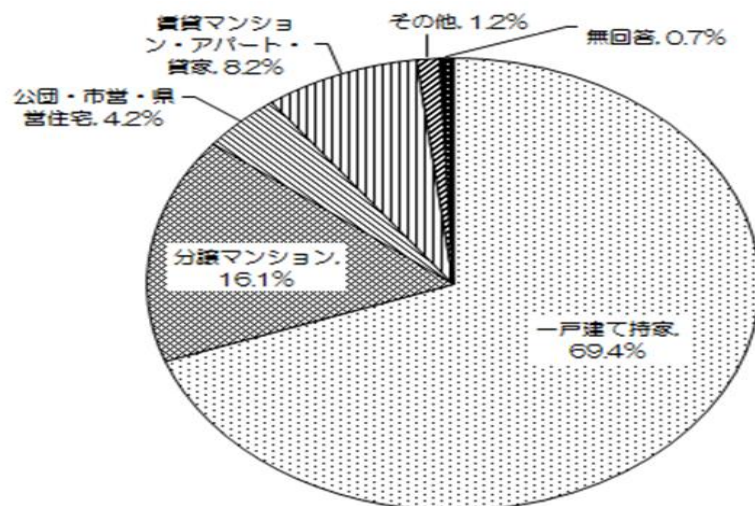
問6 通勤・通学先の場所



問7 家族構成

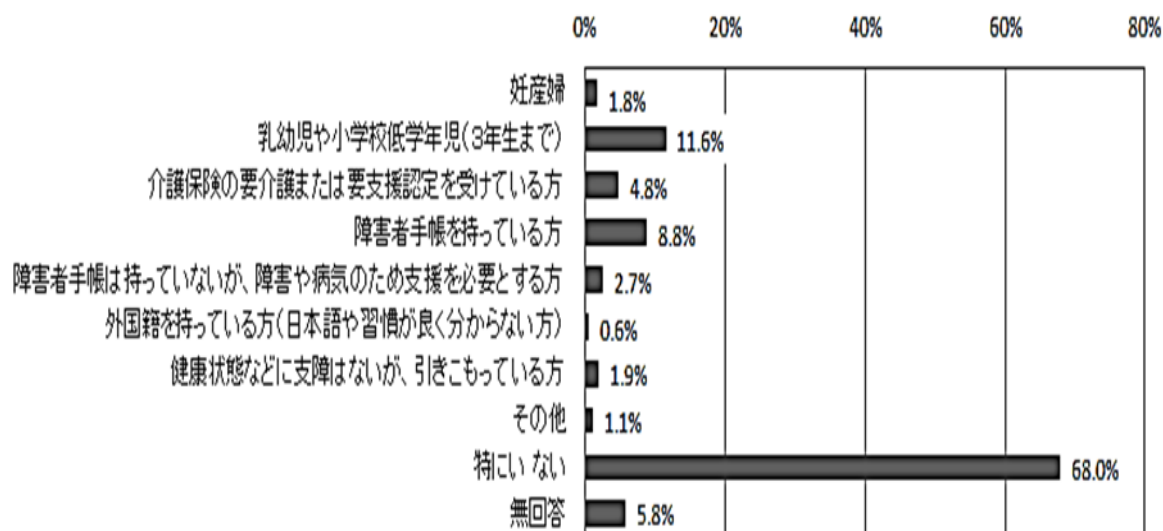


問8 住居形態



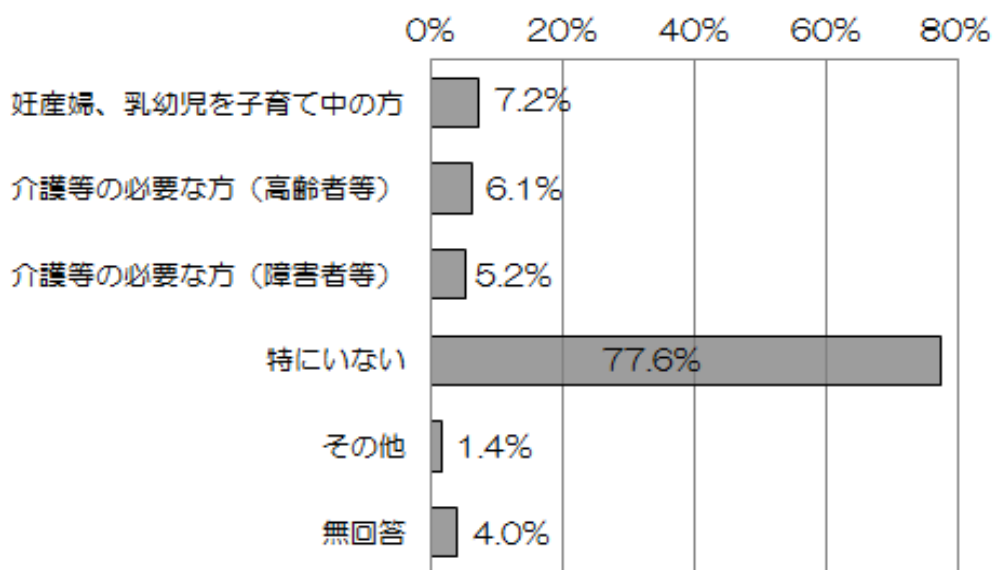
## (2) あなたの家族と身の回りに関すること

問9 あなた自身、またはあなたと同居されているご家族の中に次に掲げる方がいますか。あてはまるところ（全て）をお答えください。

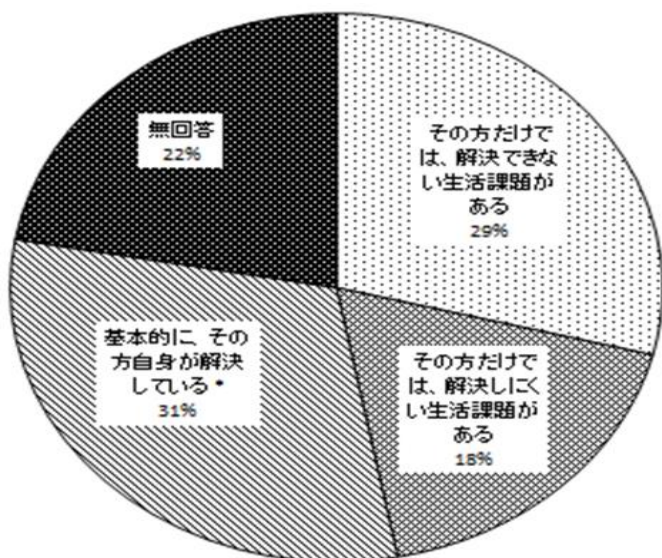


「乳幼児や小学校低学年児」(11.6%)が最も高くなっています。子育て、介護、介助等、何らかの事情により、支援が必要な同居家族がいる方の割合は、合わせて26.2%となっており、前回調査の19.0%と比べ、大幅に増えています。

《参考》 前回調査回答 (問12)



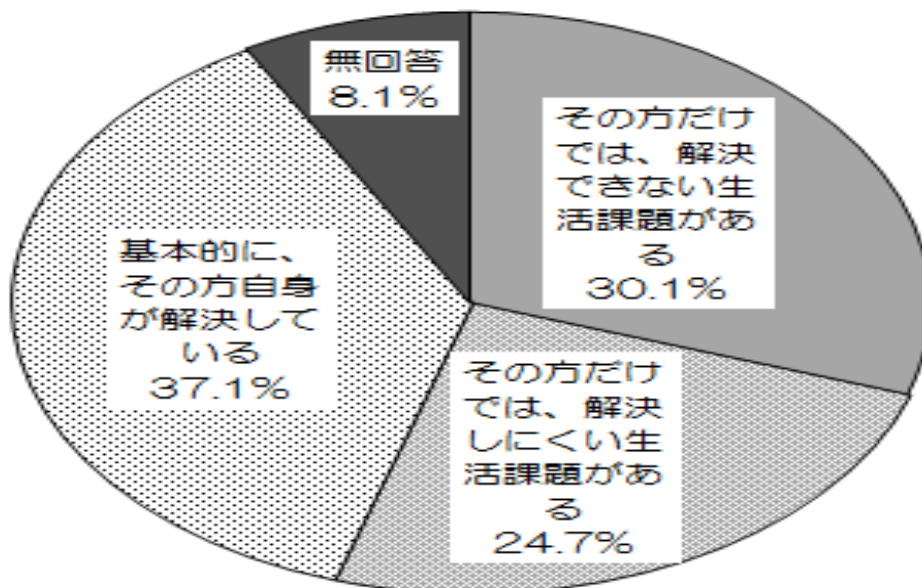
問 10 その方の生活課題（身の回りのことや家事等）は、その方自身が解決されていますか。



「その方だけでは、解決できない生活課題がある」または「その方だけでは、解決しにくい生活課題がある」と回答された方が48%となっています。

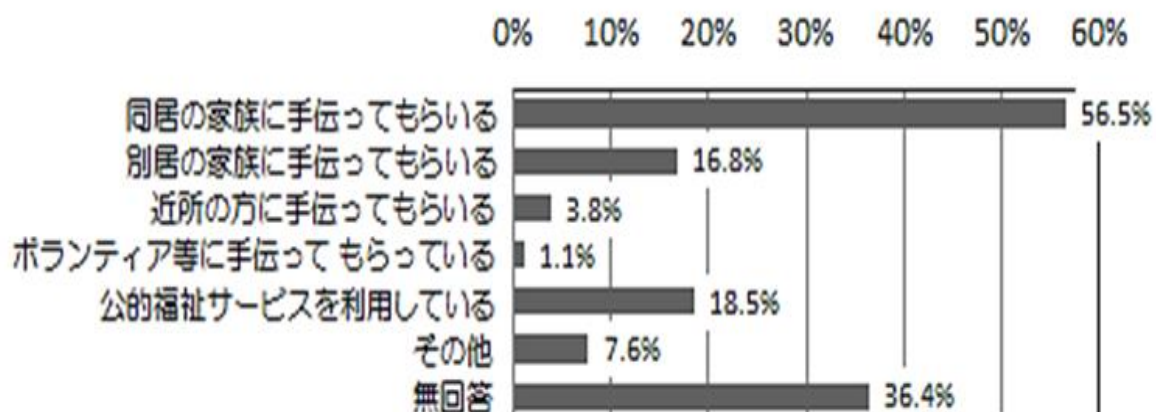
前回調査では「自分だけではできない・できにくいことがある」と回答した方が54.8%と減少していますが、「基本的に、その方自身が解決している」と回答された方も減少しています。

《参考》 前回調査回答（問 13）





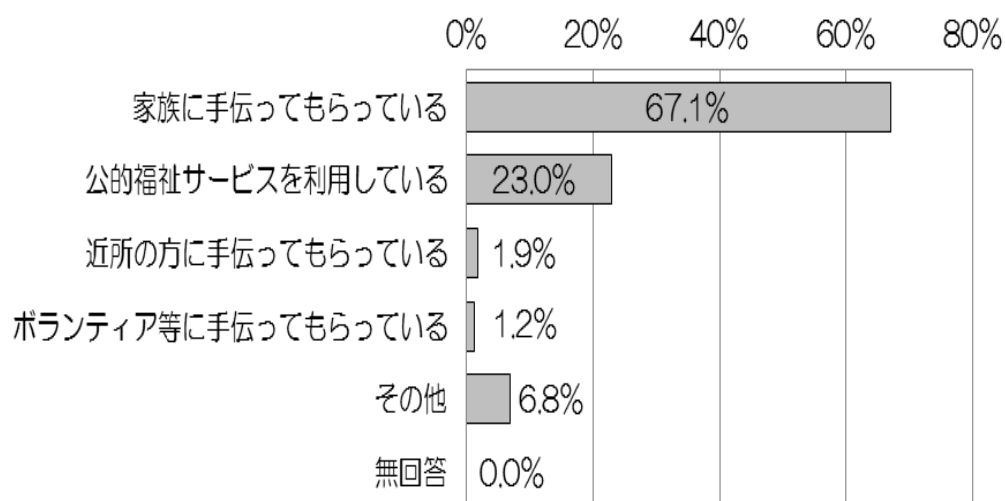
問 11 その方の生活課題の解決に向け、どのような方法をとられていますか。  
あてはまるところ（全て）をお答えください。



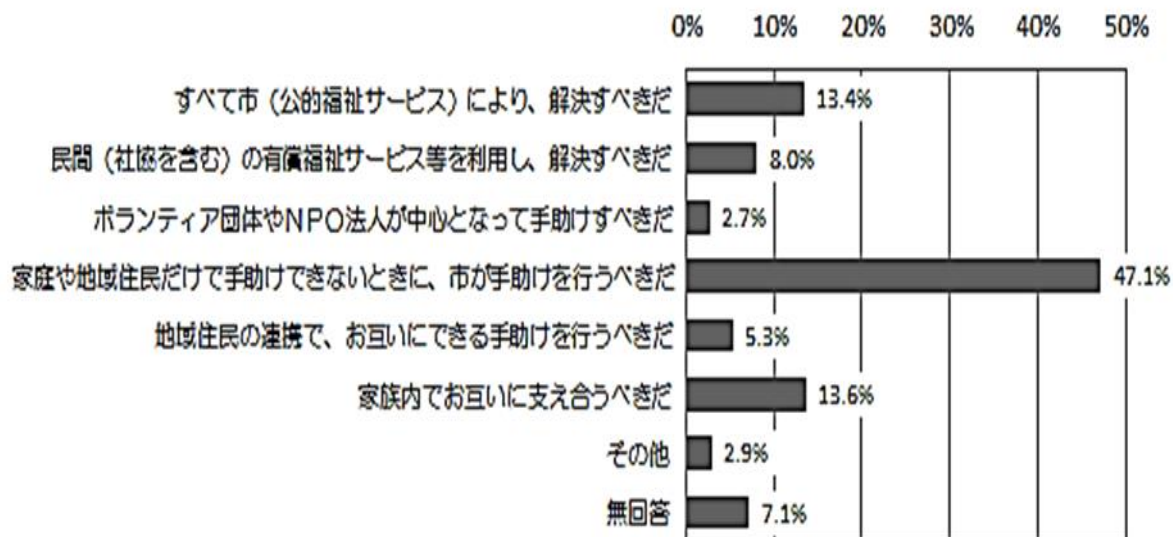
「同居の家族に手伝ってもらっている」(56.5%) がもっとも高く、次いで「公的福祉サービスを利用している」(18.5%) となっています。

前回調査でも「家族に手伝ってもらおう」がもっとも高く、家族による支援の大きさが伺えます。

《参考》 前回調査回答（問 14）



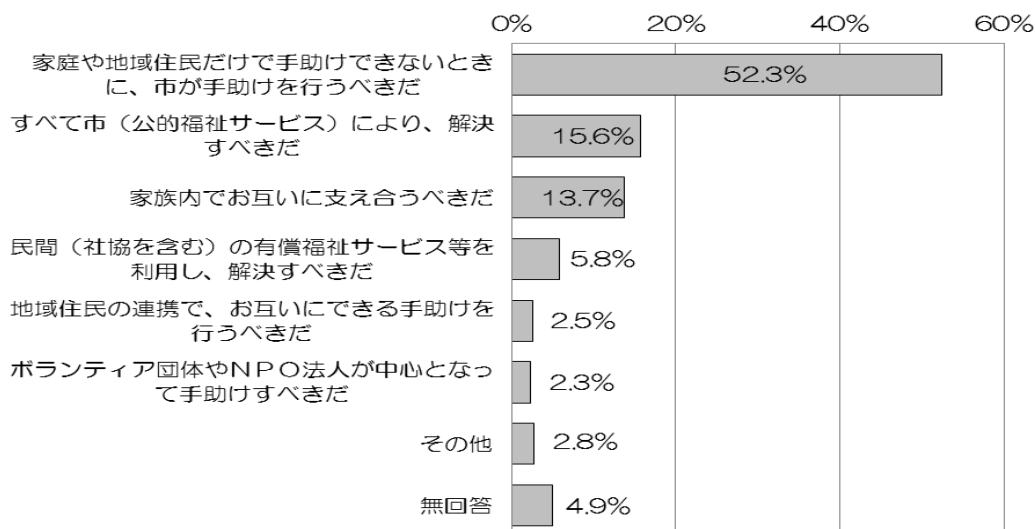
問 12 本来、生活課題を解決するための「望ましい姿」について、あなたの考えに近いものはどれですか。



「家庭や地域住民だけで手助けできないときに、市が手助けを行うべきだ」（47.1%）がもっとも高く、次いで「家族内でお互いに支え合うべきだ」（13.6%）となっています。

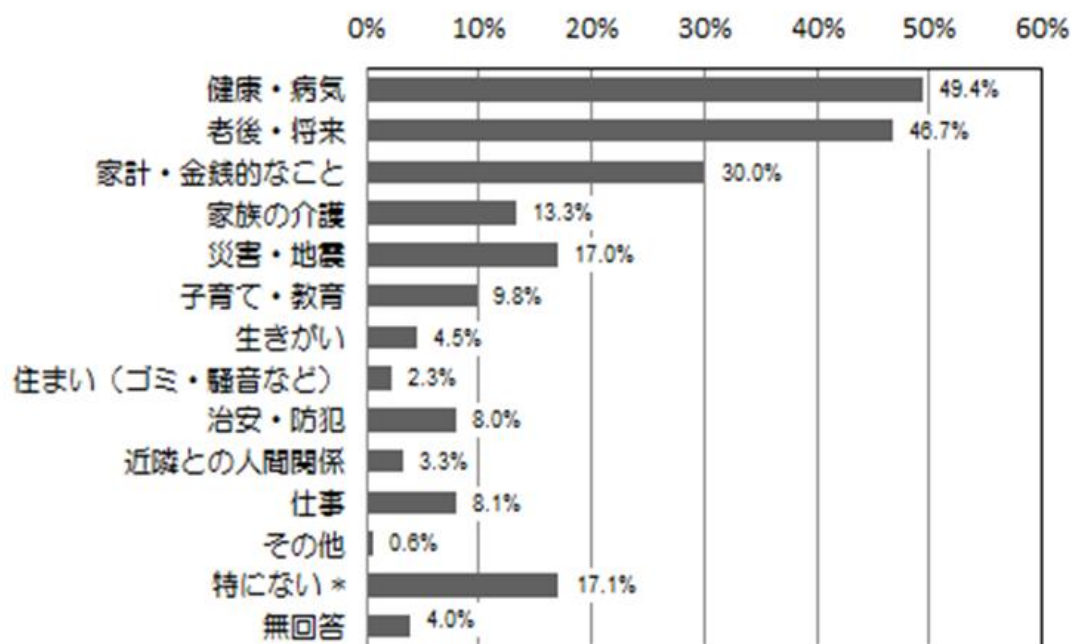
前回調査では「家庭及び地域住民だけで手助けできないときに、市が手助けを行う」がもっとも高く、次いで「すべて市（公的福祉サービス）により、解決すべきだ」となっていました。

《参考》 前回調査回答（問 15）



### (3) あなた自身が抱える「悩み・不安」に関すること

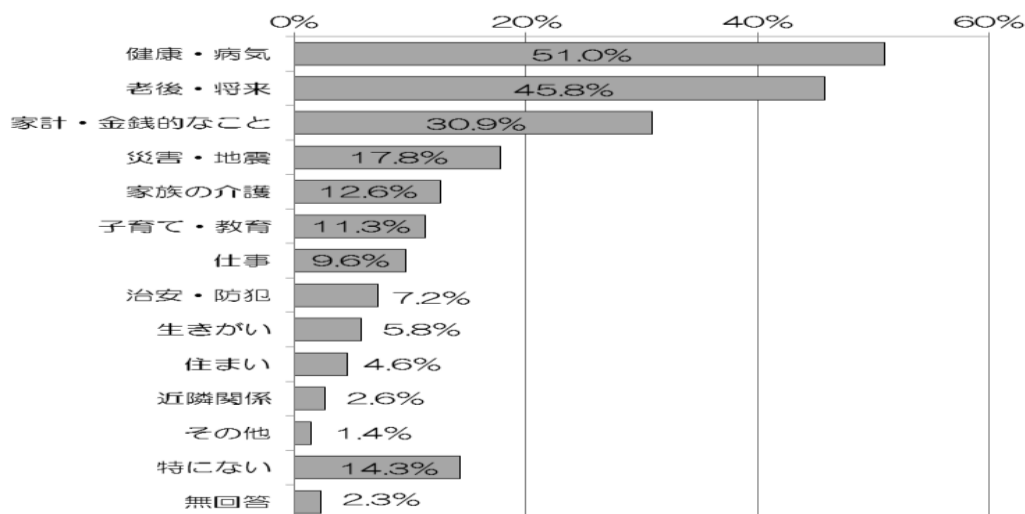
問 13 暮らしの中で、あなた自身やご家庭のことで、どのような「悩み・不安」がありますか。あてはまるどころ（3つ以内）をお答えください。



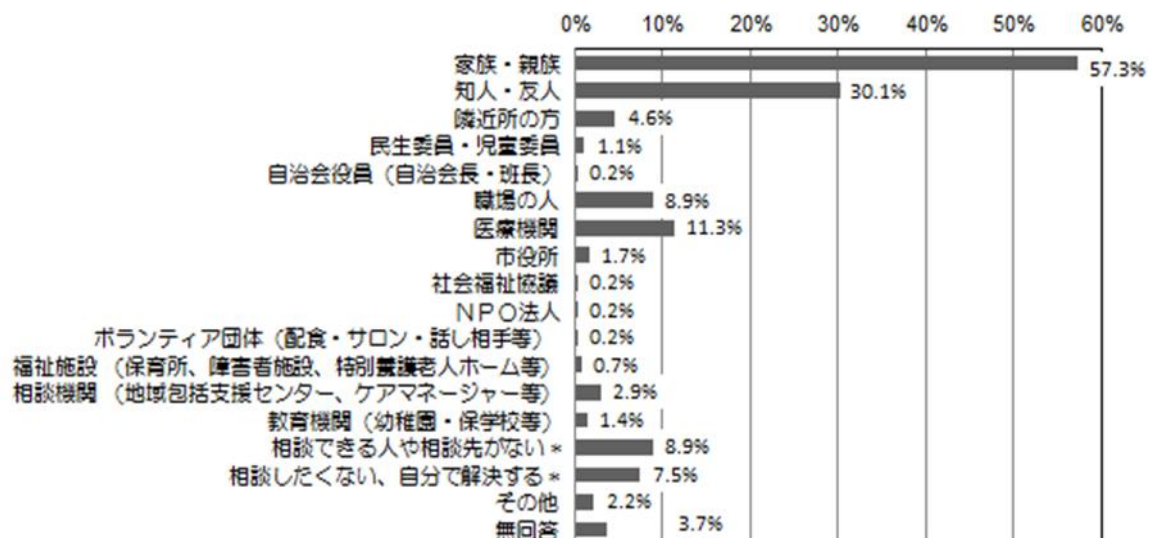
「健康・病気」（49.4%）、「老後・将来」（46.7%）、「家計・金銭的なこと」（30.0%）が高くなっています。

なお、前回調査においても、同様の回答が上位となっていますが、「健康・病気」についての回答が微減しています。

#### 《参考》 前回調査回答（問 9）

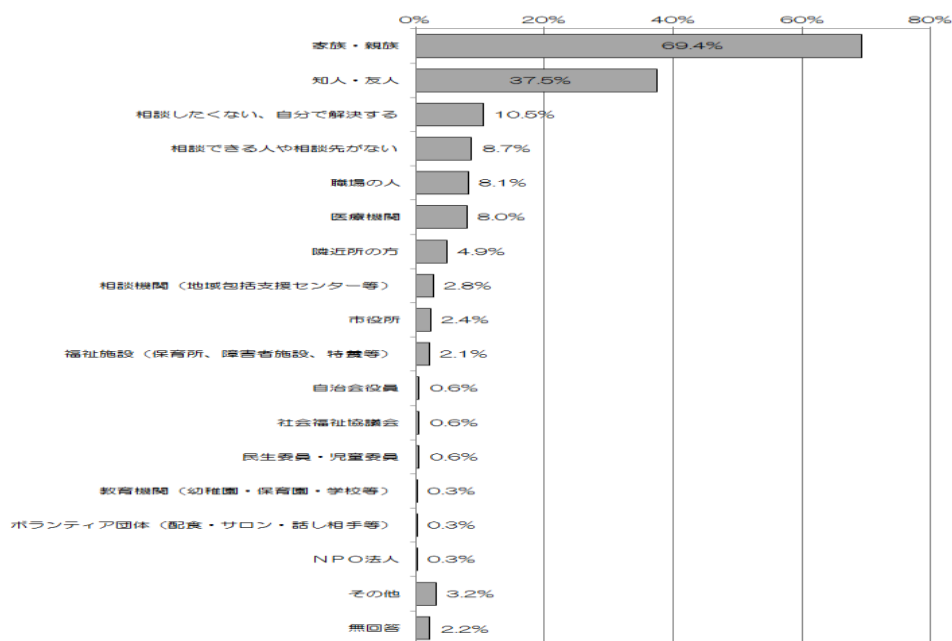


問 14 その「悩み・不安」について、誰に相談されていますか。主なものを3つ以内で挙げてください。あてはまるどころ（3つ以内）をお答えください。

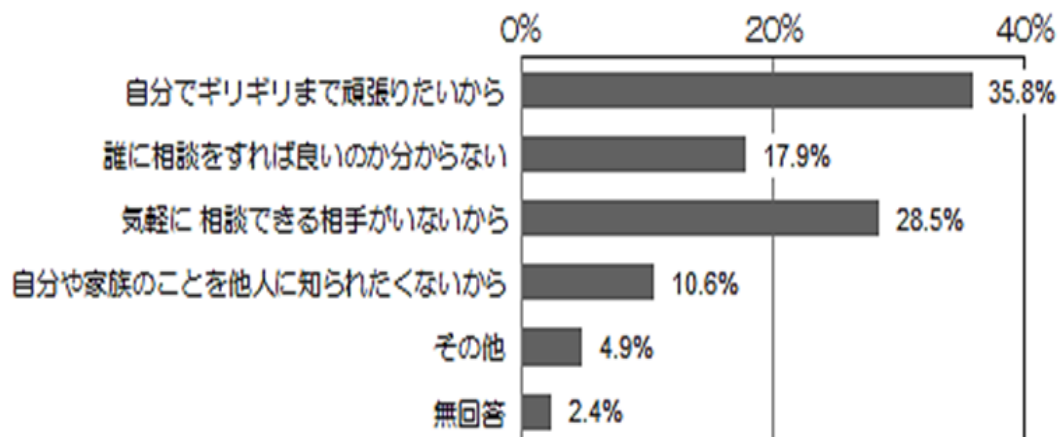


「家族・親族」（57.3%）、「知人・友人」（30.1%）がもっとも高くなっています。一方で「相談したくない、自分で解決する」（4.5%）、「相談できる人や相談先がない」（8.9%）となっています。  
 前回調査においても同様の回答が上位となっていますが、「相談できる人や相談先がない」という回答が微増しています。

《参考》 前回調査回答（問 10）



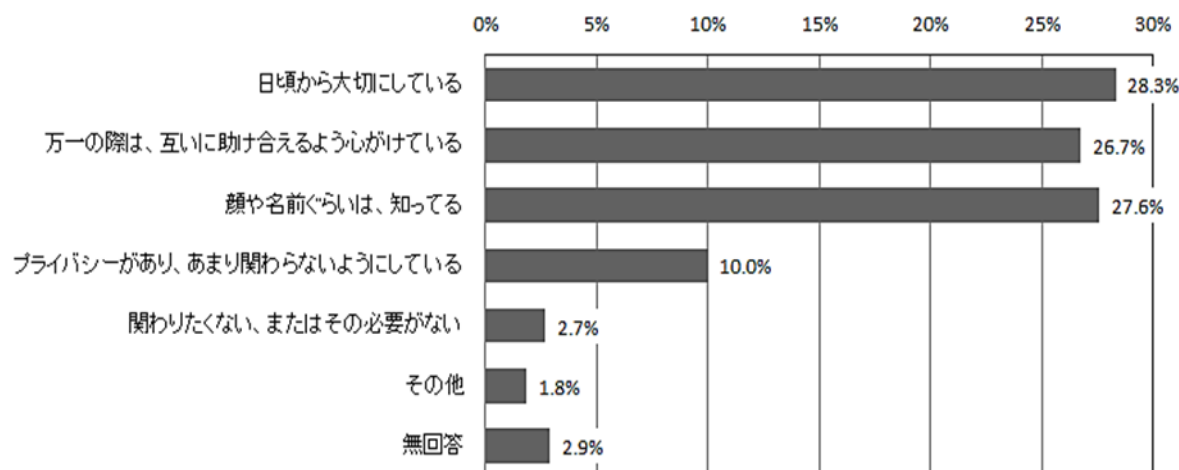
問 15 (問 14 で「相談できる人や相談先がない」「相談したくない、自分で解決する」と回答された方のみ) その理由は何ですか。



「相談できる人や相談先がない」「相談したくない、自分で解決する」と回答された方があげる理由として、「自分でギリギリまで頑張りたいから」(35.8%) がもっとも高く、次いで「気軽に相談できる相手がないから」(28.5%)、「誰に相談すれば良いのか分からない」(17.9%) となっています。

#### (4) ご近所づきあいや自治会活動に関すること

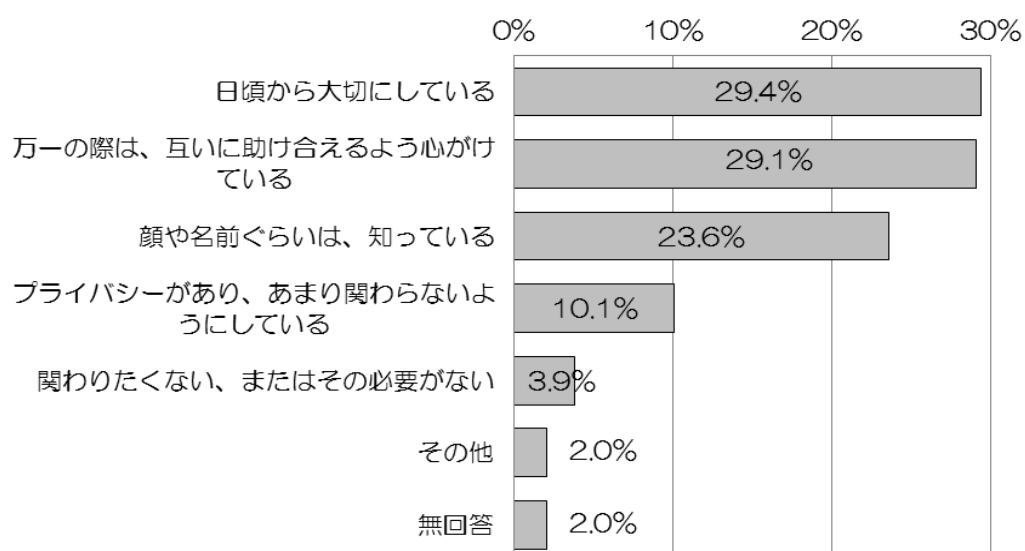
問 16 「ご近所づきあい」について、あなたの考えに近いものはどれですか。



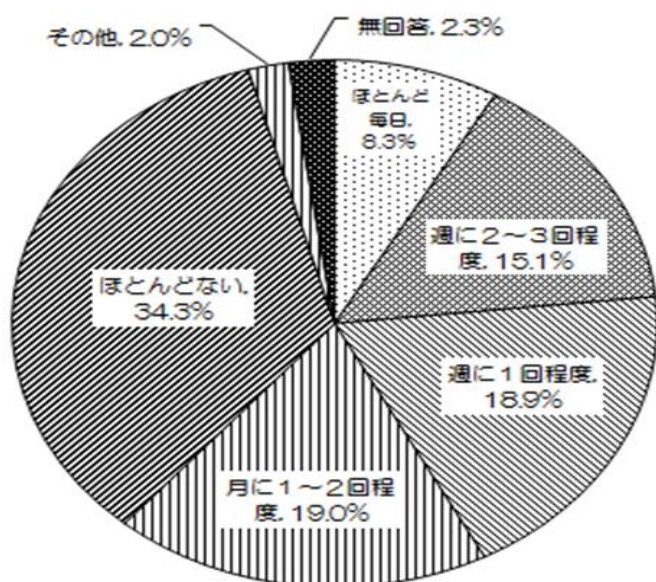
「日頃から大切にしている」(28.3%) がもっとも高く、次いで「顔や名前ぐらいは、知っている」(27.6%) 「万一の際は、互いに助け合えるよう心がけている」(26.7%) となっています。

なお、前回調査でも同様の上位回答となっていますが、「日頃から大切にしている」という回答が微減しています。

#### 《参考》 前回調査回答 (問 16)



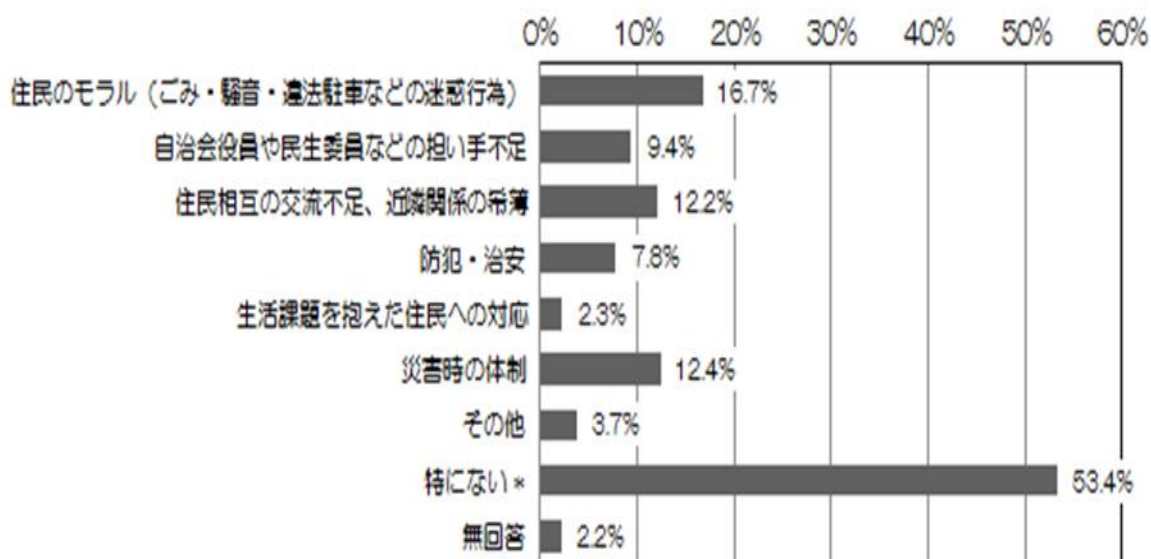
問 17 ご近所とのコミュニケーションをとる機会（世間話をする機会）はどの位の頻度でありますか。



「ほとんどない」(34.3%)  
がもっとも高く、次いで「月  
1~2回程度」(19.0%)、「週  
に1回程度」(18.9%)とな  
っています。

ご近所とのコミュニケーシ  
ョンが「週に1回」以下しか  
とる機会がない方が全体の約  
7割と、日常的なご近所との  
コミュニケーションの少なさ  
が見えます。

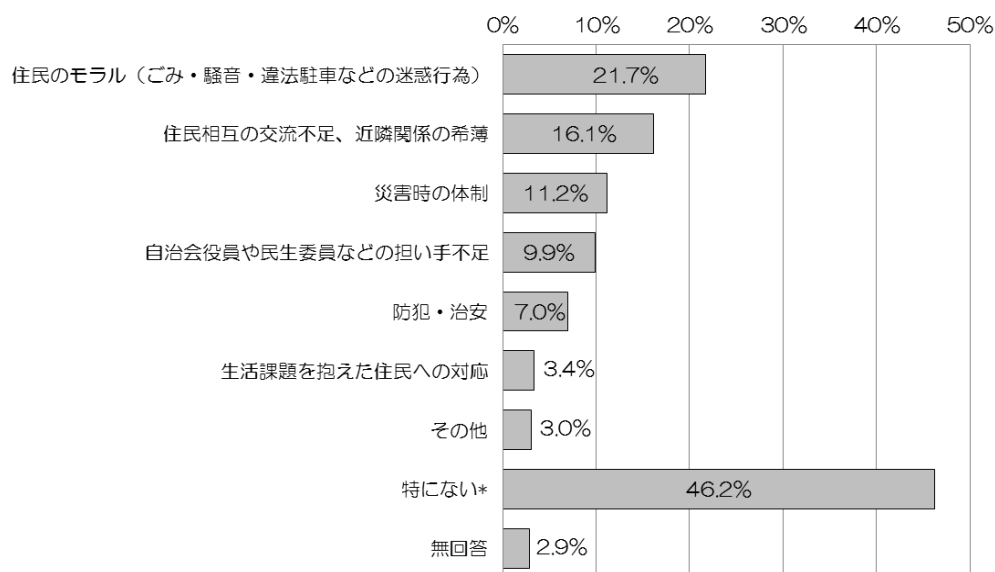
問 18 ご近所に関して、どのような困り事がありますか。あてはまるところ(全て)をお答えください。



「住民のモラル(ごみ・騒音・違法駐車などの迷惑行為)」(16.7%)がもっとも高く、次いで「災害時の体制」(12.4%)、「住民相互の交流不足・近隣関係の希薄」(12.2%)となっています。

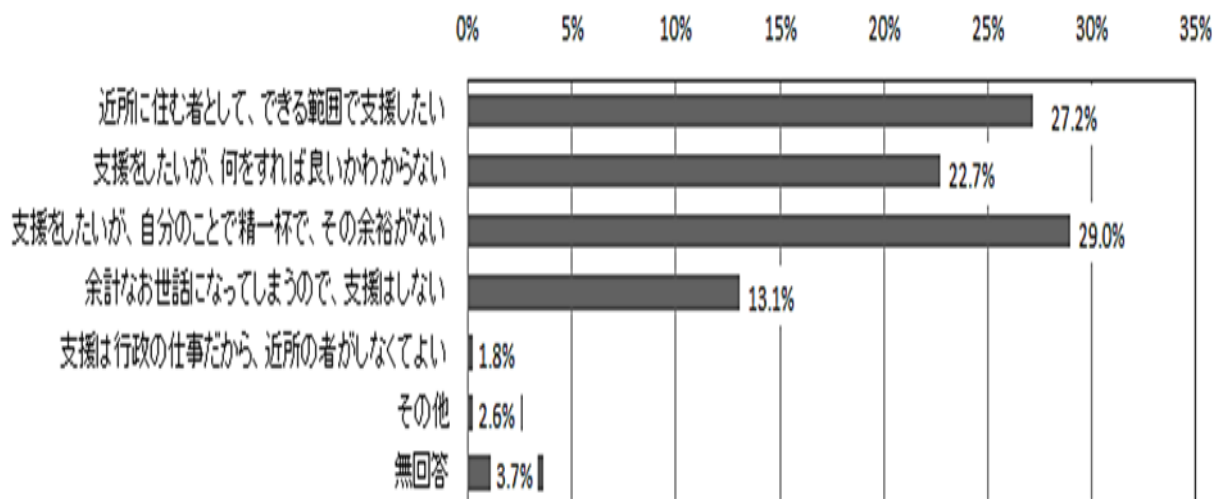
なお、前回調査では、「ごみ問題や騒音、違法駐車等モラルの問題」、「災害時の体制」、「住民相互の交流不足・近隣関係の希薄」の順となっています。平成28年度台風9号による浸水害の影響で、災害時の体制の必要性が意識された可能性があります。

《参考》 前回調査回答(問17)





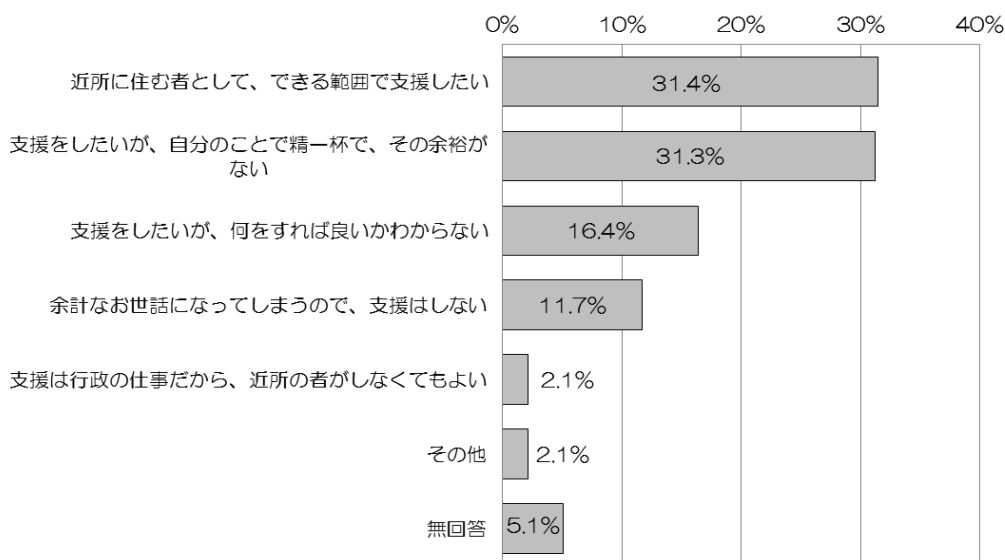
問 19 仮に、ご近所で身の回りのことや家事等に課題を抱える方がいた場合の解決方法について、あなたの考えに近いものはどれですか。



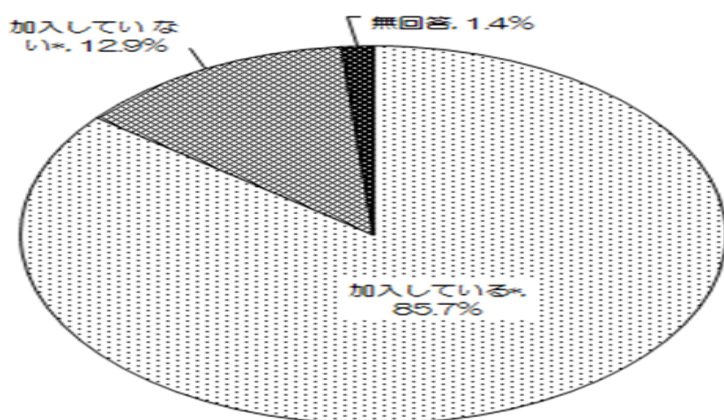
「支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない」(29.0%) がもっとも高く、次いで「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」(27.2%) となっています。何らかの形で「支援をしたい」と考えている方が、80%余りに達しています。

なお、前回調査では、「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」がもっとも高く、次いで「支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない」となっています。

《参考》 前回調査回答 (問 18)

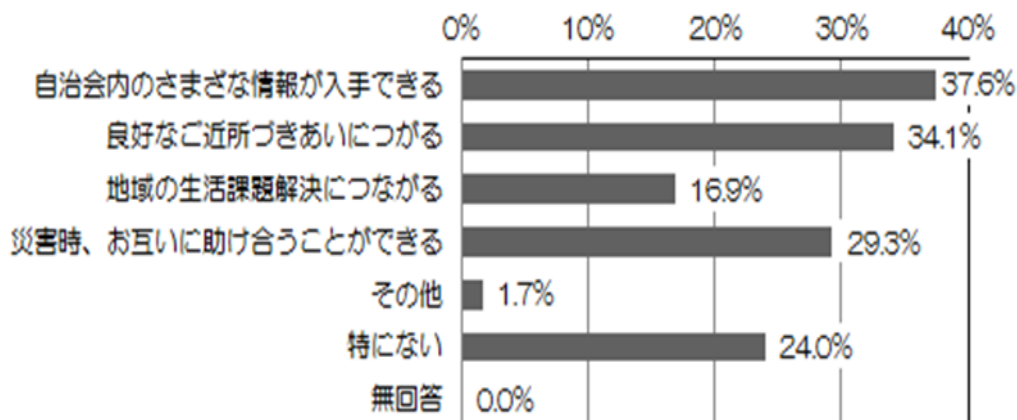


問 20 自治会に加入していますか。



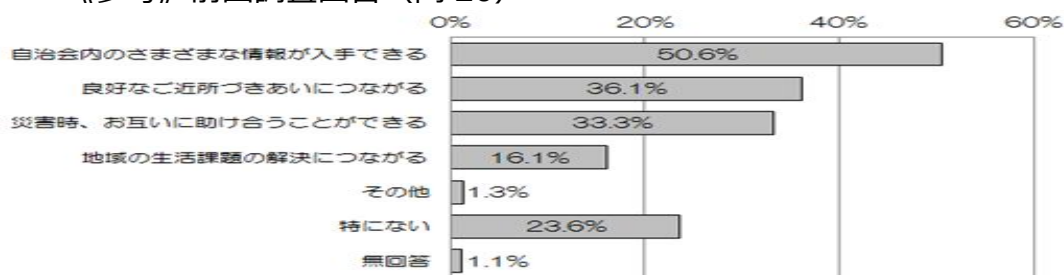
自治会に加入していると回答された方は全体の 85.7% となっています。

問 21 自治会に加入して良かったことは何ですか。あてはまるところ（全て）をお答えください。

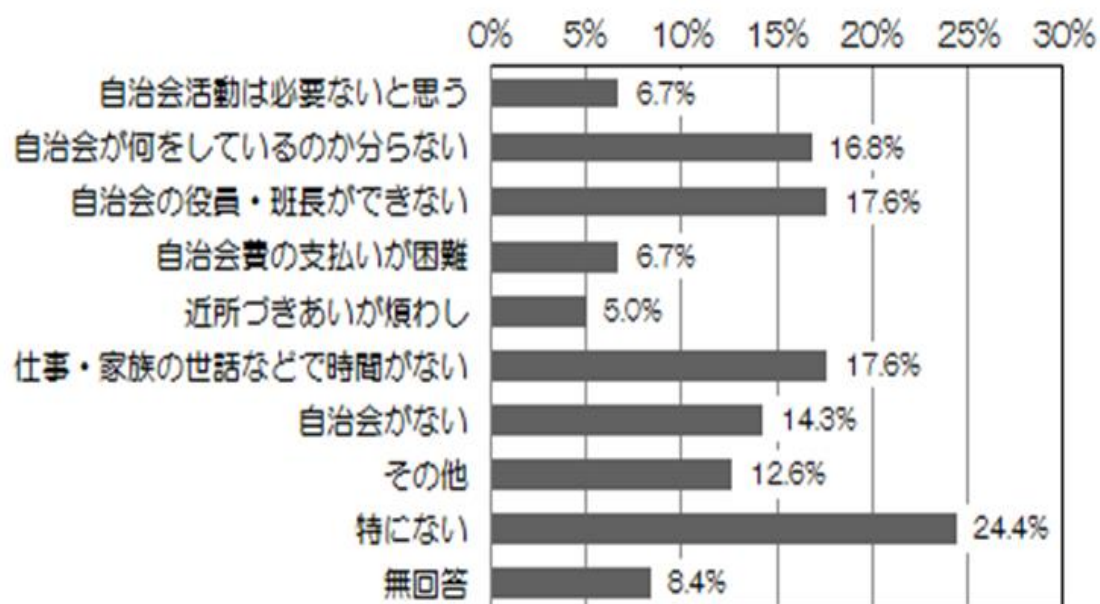


自治会に加入して良かったこととしては「自治会内のさまざまな情報が入手できる」(37.6%) がもっとも高く、次いで「良好なご近所づきあいにつながる」(34.1%)、「災害時、お互いに助け合うことができる」(29.3%) となっています。  
 前回調査でも同様の上位回答になっています。

《参考》 前回調査回答 (問 20)



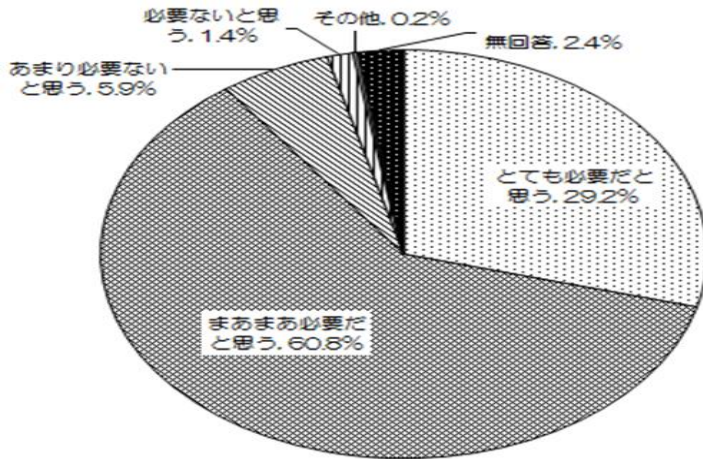
問 22 自治会に加入していない理由は何ですか。あてはまるところ（全て）をお答えください。



自治会に加入していない理由としては「特にない」（24.4%）がもっとも高く、次いで「自治会の役員・班長ができない」（17.6%）、「仕事・家族の世話などで時間がない」（17.6%）、「自治会が何をしているのか分からない」（16.8%）となっています。

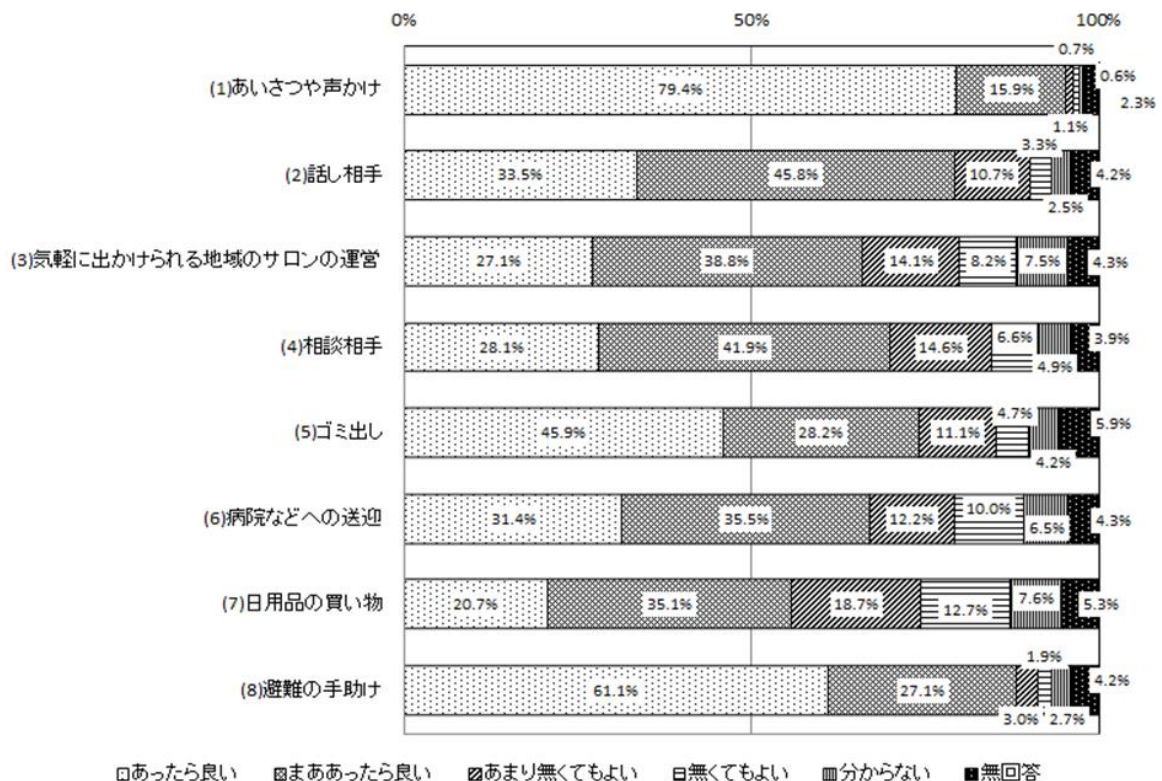
## (5) 地域活動に関すること

問 23 地域のつながりの必要性について、あなたの考えに近いものはどれですか。



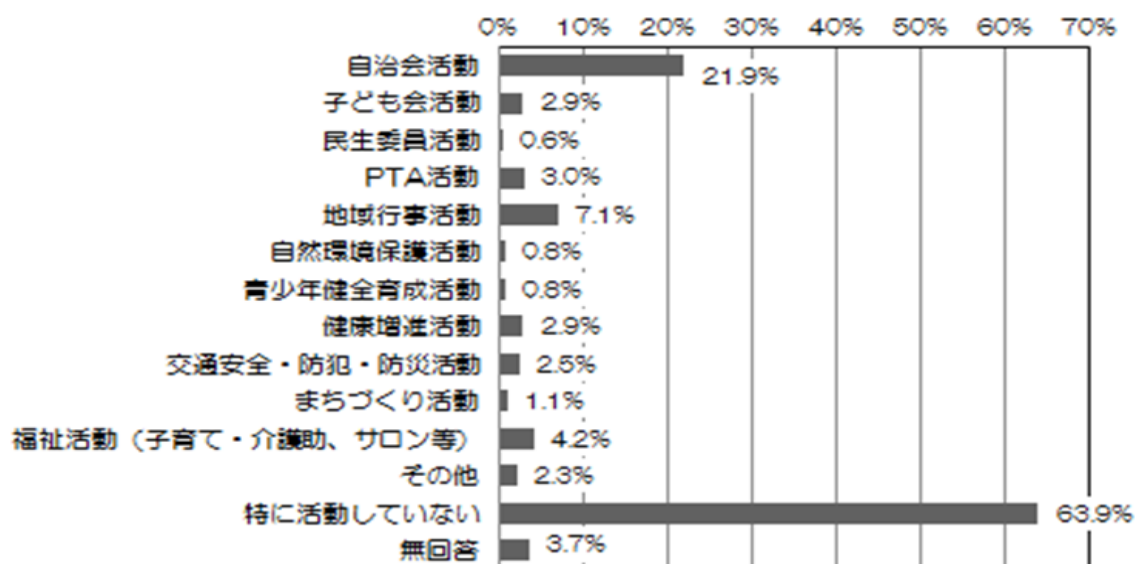
「とても必要だと思う」(29.2%)、「まあまあ必要だと思う」(60.8%)と、全体の約 9 割が地域のつながりの必要性を感じています。

問 24 地域での住民相互の支え合いに対する考えについて、あなたの考えに近いものはどれですか。



住民相互の支え合いが「あったら良い」との回答が「あいさつや声かけ」(79.4%)、「避難の手助け」(61.1%)、「ゴミ出し」(45.9%)で多く見受けられました。

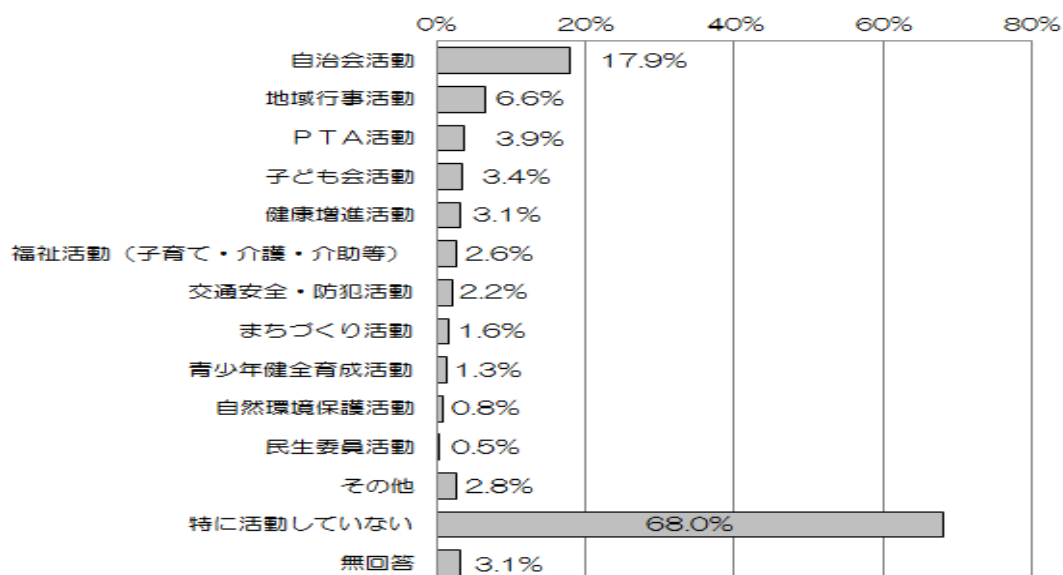
問 25 あなたは現在、地域のつながりや支え合いを高めるような活動（地域活動）をされていますか。あてはまるところ（全て）をお答えください。



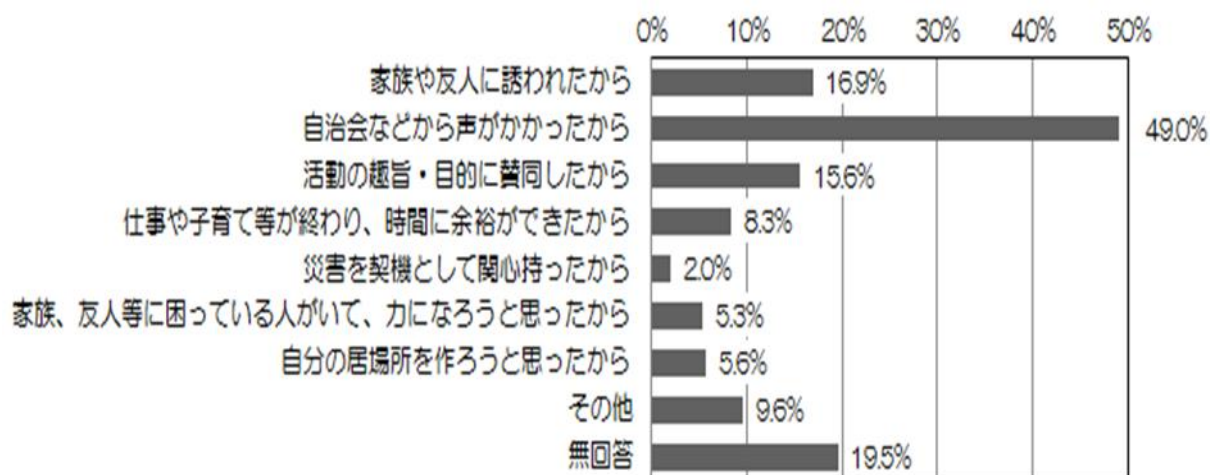
「自治会活動」（21.9%）がもっとも高く、次いで「地域行事活動」（7.1%）、「福祉活動（子育て・介護、サロン）」（4.2%）となっています。

前回調査から、「特に活動していない」との回答が微減しています。

《参考》 前回調査回答（問 21）



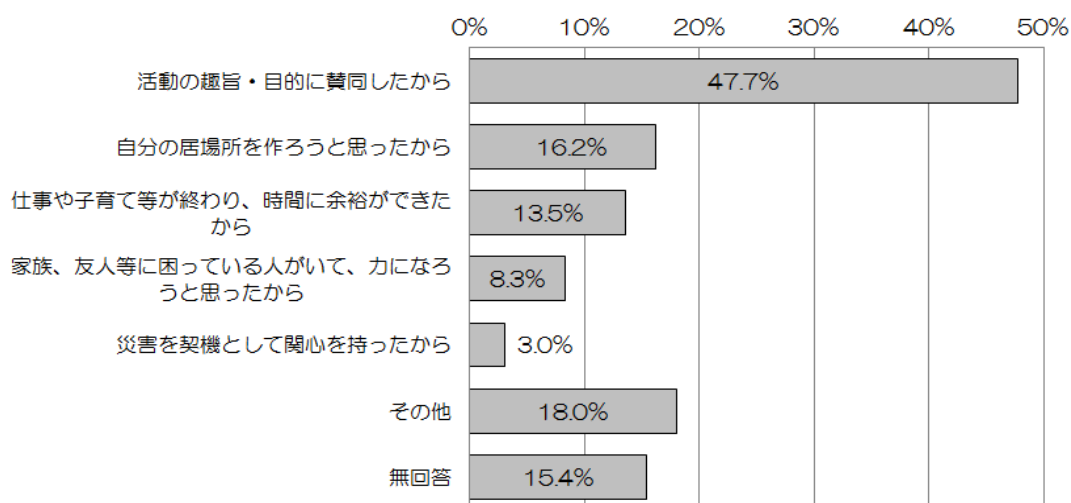
問 26 地域活動を始めた動機（キッカケ）は何ですか。あてはまるところ（全て）をお答えください。



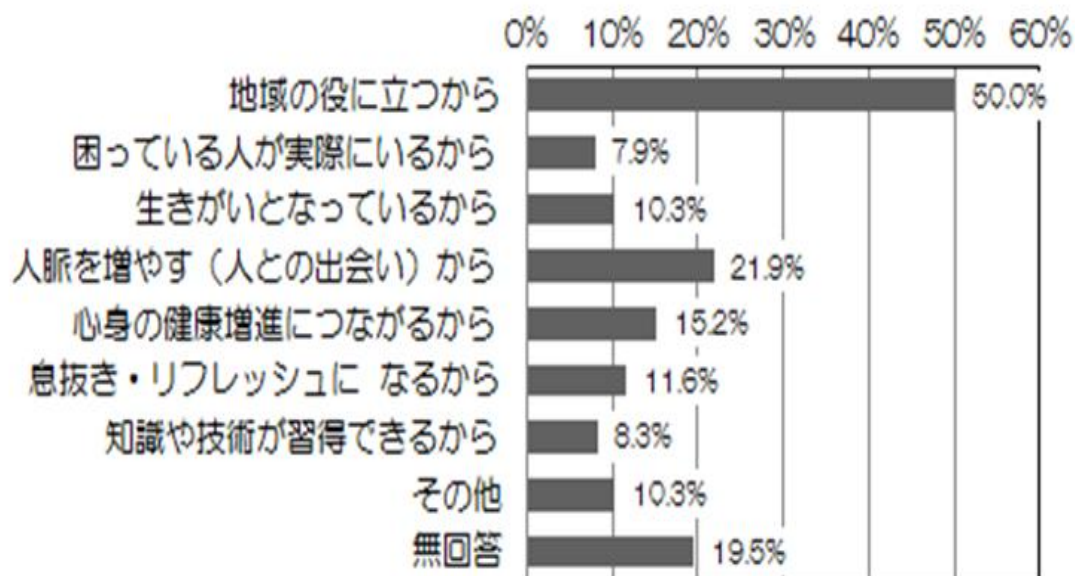
「自治会などから声がかかったから」（49.0%）がもっとも高く、次いで「家族や友人に誘われたから」（16.9%）、「活動の趣旨・目的に賛同したから」（15.6%）となっています。全体の約 5 割超が、誰かから声をかけられて活動を始めています。

前回調査では、「活動の趣旨・目的に賛同したから」がもっとも高くなっています。

《参考》 前回調査回答（問 22）

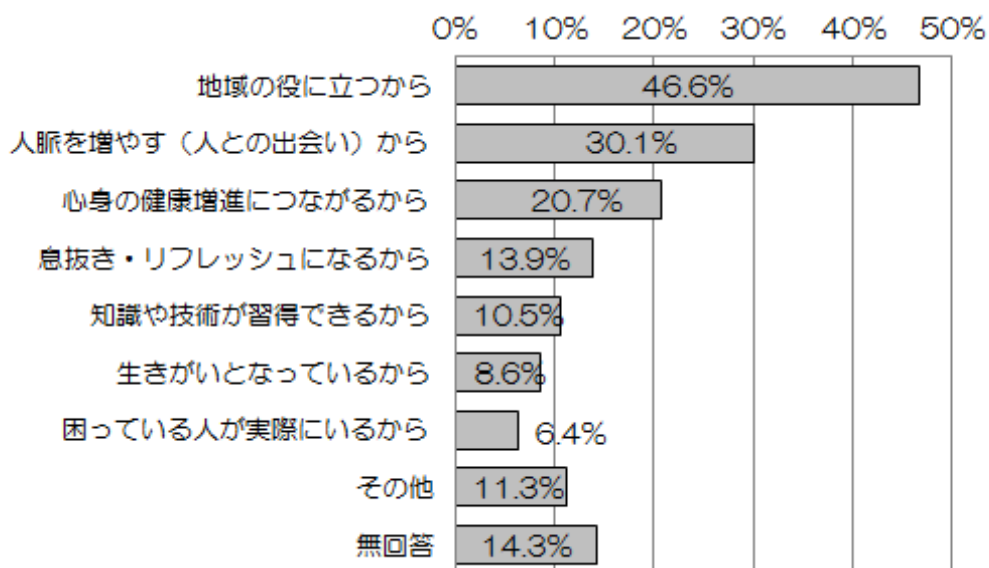


問 27 地域活動を続けている理由は何ですか。あてはまるところ（全て）をお答えください。

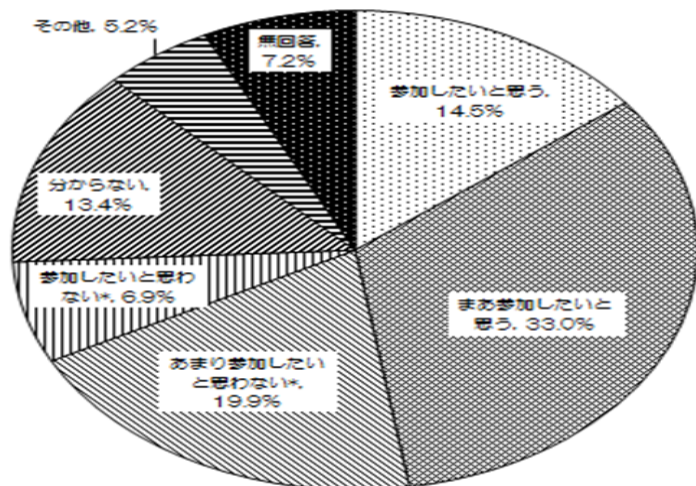


「地域の役に立つから」（50.0%）がもっとも高く、次いで「人脈を増やす（人との出会い）から」（21.9%）、「心身の健康増進につながるから」（15.2%）となっています。  
 前回調査でも同様の上位回答となっています。

《参考》 前回調査回答（問 23）

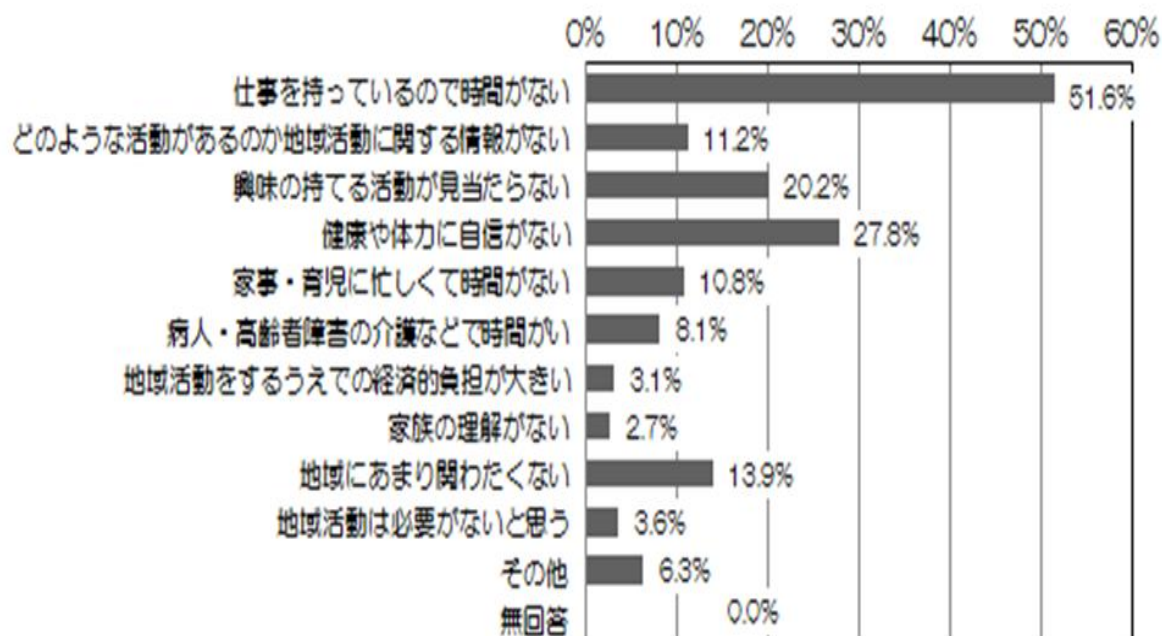


問 28 今後、地域活動への参加の依頼があった場合、あなたは地域活動に参加したいと思いますか。



「参加したいと思う」(14.5%)、「まあ参加したいと思う」(33.0%)と、参加に意欲のある回答が全体の約 5 割弱となっています。

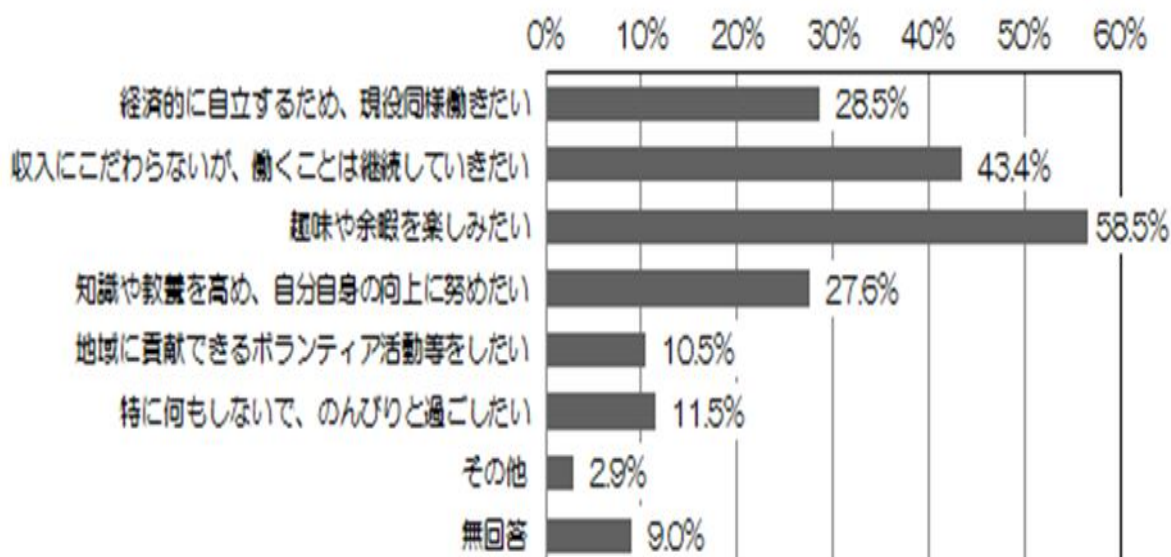
問 29 地域活動への参加をしたいと思わない理由は何ですか。あてはまるところ(全て)をお答えください。



「仕事を持っているので時間がない」(51.6%)がもっとも高く、次いで「健康や体力に自身がない」(27.8%)、「興味を持てる活動が見当たらない」(20.2%)となっています。



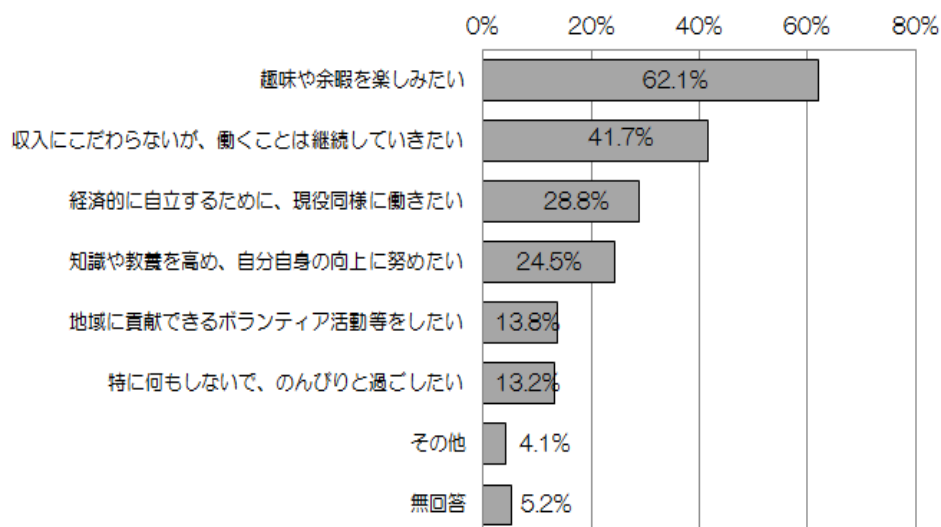
問 30 （この設問は、59 歳以下の方がお答えください。）あなたは、あなた自身が 60 歳を迎えた後、主にどのように過ごしたいと考えていますか。あてはまるどころ（3つ以内）をお答えください。



「趣味や余暇を楽しみたい」（58.5%）がもっとも高く、次いで「収入にこだわらないが、働くことは継続していきたい」（43.4%）、「経済的に自立するために、現役同様に働きたい」（28.5%）となっています。

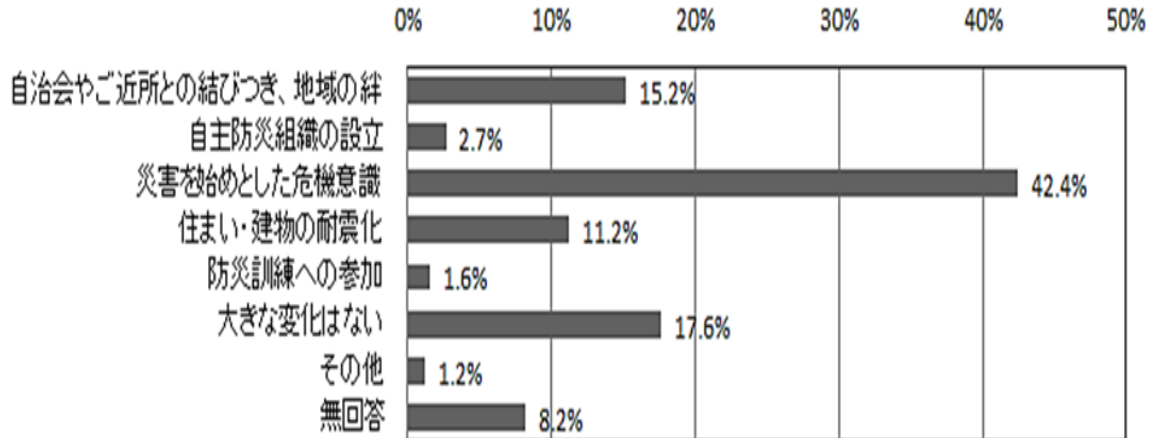
前回調査でも同様の上位回答となっています。

《参考》 前回調査回答（問 11）



## (6) 大規模災害を教訓とした今後の活動に関すること

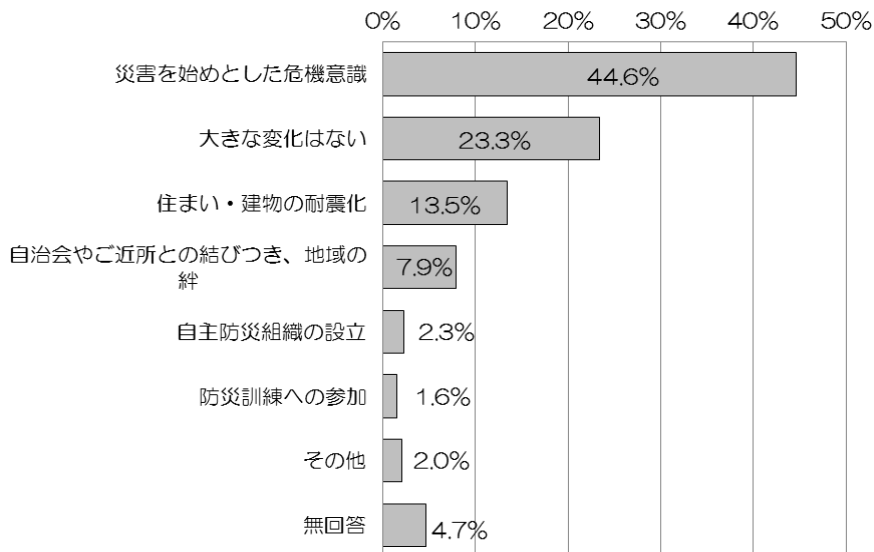
問 31 あなたは、東日本震災や熊本地震などの大規模災害が発生する「前」と「後」とを比べ、価値観や意識が最も大きく変わったことは何ですか。



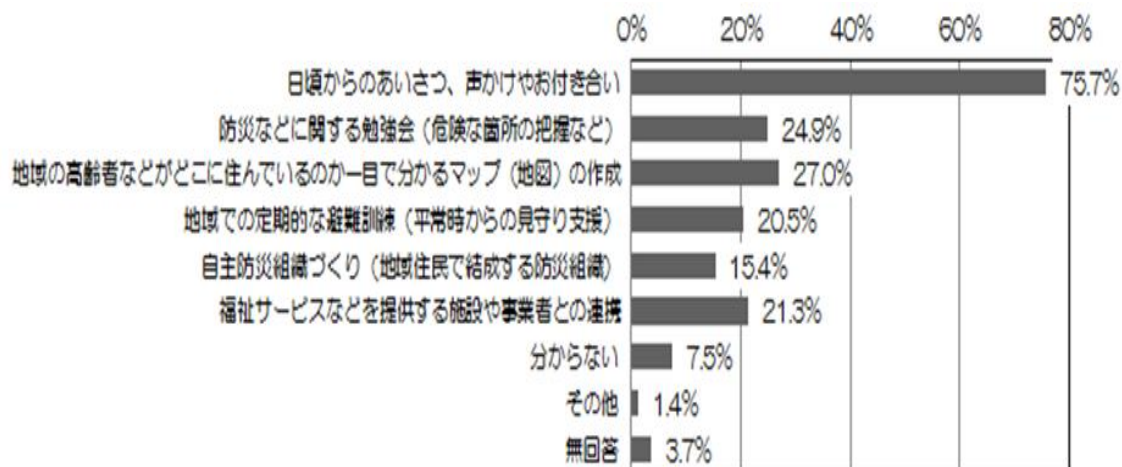
「災害を始めとした危機意識」(42.4%)がもっとも高く、次いで「大きな変化はない」(17.6%)、「自治会やご近所との結びつき、地域の絆」(15.2%)となっています。

前回調査では、「災害を始めとした危機意識」、「大きな変化はない」、「住まい・建物の耐震化」の順となります。

### 《参考》 前回調査回答 (問 29)

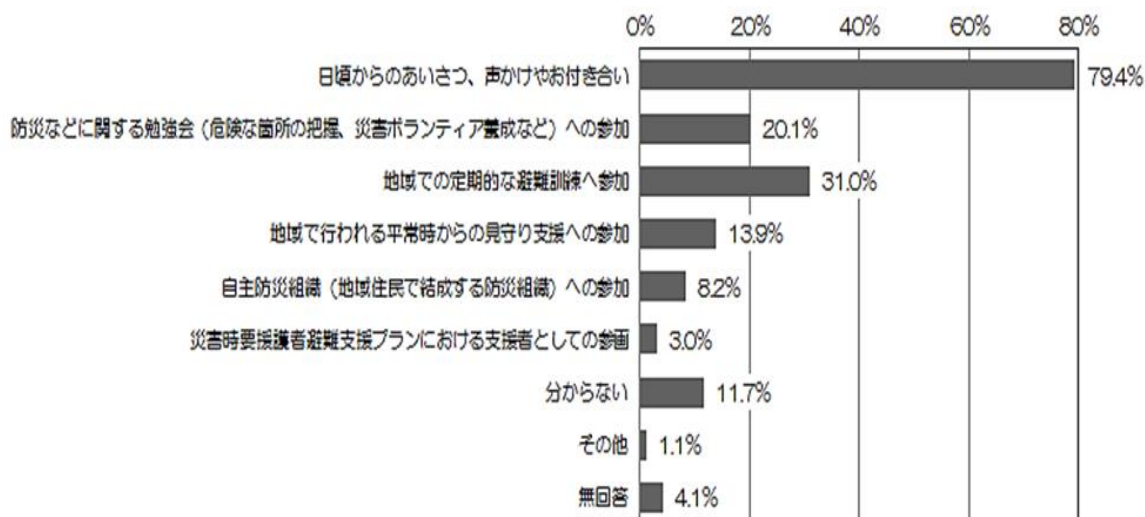


問 32 「災害時に住民が支え合う地域づくり」には、何が必要だと思いますか。  
あてはまるところ（3つ以内）をお答えください。



「日頃からのあいさつ、声かけやお付き合い」（75.7%）がもっとも高く、次いで「地域の高齢者などがどこに住んでいるのか一目で分かるマップ（地図）の作成」（27.0%）、「防災などに関する勉強会（危険な箇所の把握など）」（24.9%）となっています。

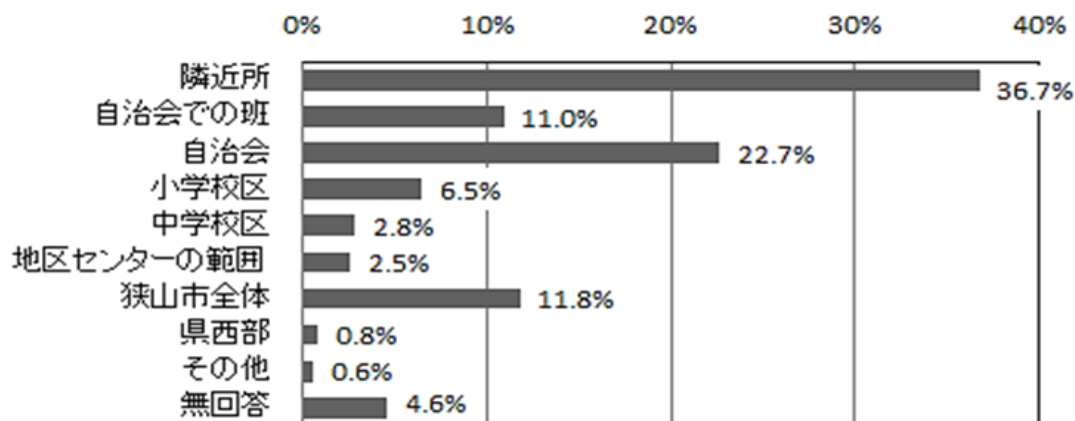
問 33 「災害時に住民が支え合う地域づくり」を進める上で、あなたができることは何ですか。あてはまるところ（3つ以内）をお答えください。



「日頃からのあいさつ、声かけやお付き合い」（79.4%）がもっとも高く、次いで「地域での定期的な避難訓練への参加」（31.0%）、「防災などに関する勉強会（危険な箇所の把握、災害ボランティア養成など）への参加」（20.1%）となっています。

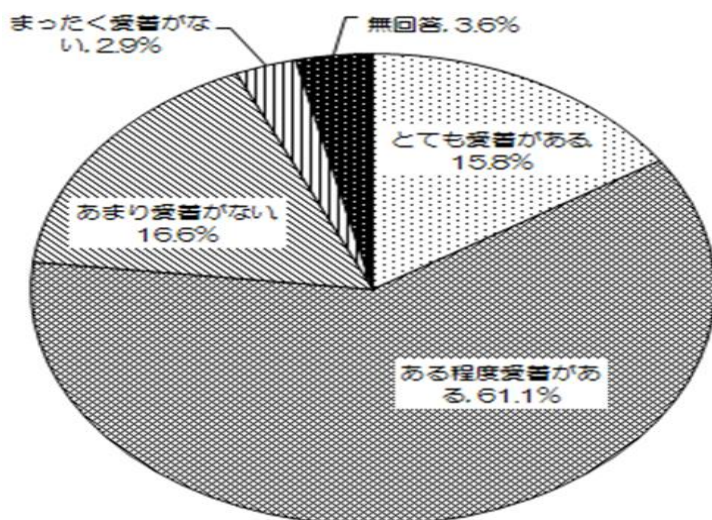
## (7) 身近に感じる地域に関すること

問 34 あなたにとって身近に感じる「地域」とは、どのような範囲ととらえていますか。



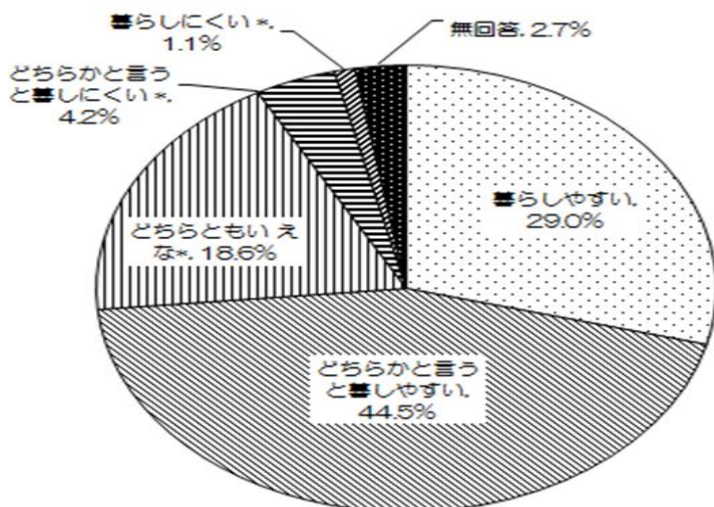
「隣近所」(36.7%) がもっとも高く、次いで「自治会」(22.7%)、「狭山市全体」(11.8%)、「自治会での班」(11.0%) となっています。

問 35 「地域」に対する愛着がありますか



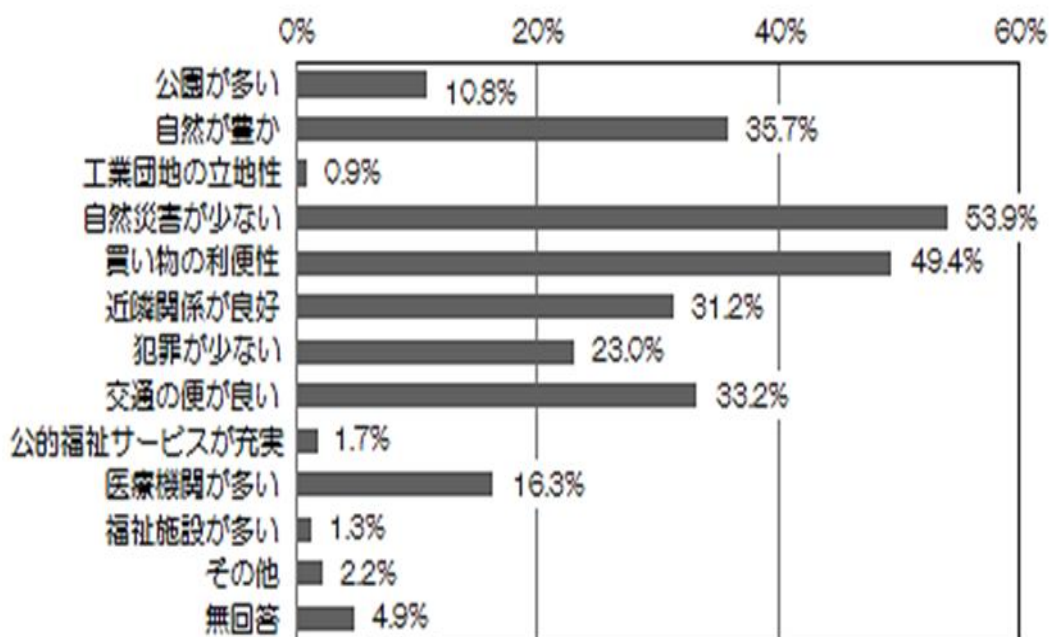
「とても愛着がある」(15.8%) 「ある程度愛着がある」(61.1%) と、地域への愛着があると回答された方が、全体の約8割弱となっています。

問 36 あなたにとって「地域」は暮らしやすいですか



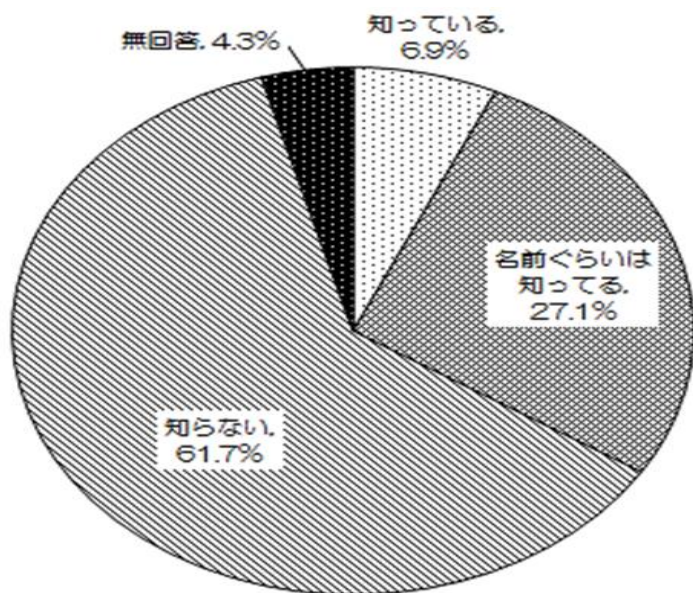
「暮らしやすい」(29.0%)「どちらかと言うと暮らしやすい」(44.5%)と、地域が暮らしやすいとの回答された方が全体の約 7割強となっています。

問 37 暮らしやすいと思う理由は何ですか。あてはまるところ(3つ以内)をお答えください。



「自然災害が少ない」(53.9%)がもっとも高く、次いで「買い物の利便性」(49.4%)、「自然が豊か」(35.7%)となっています。

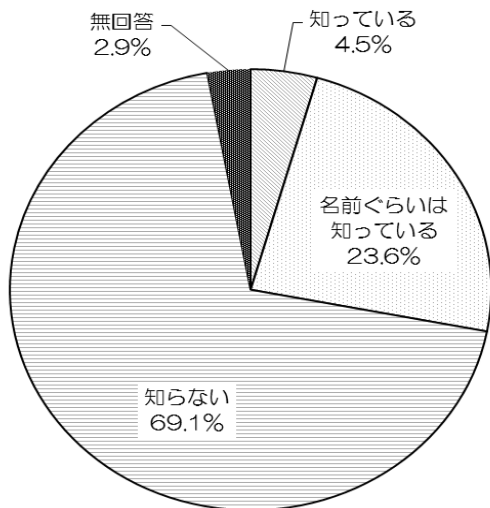
問 38 市と社会福祉協議会が策定した「狭山市地域福祉推進計画」を知っていますか。



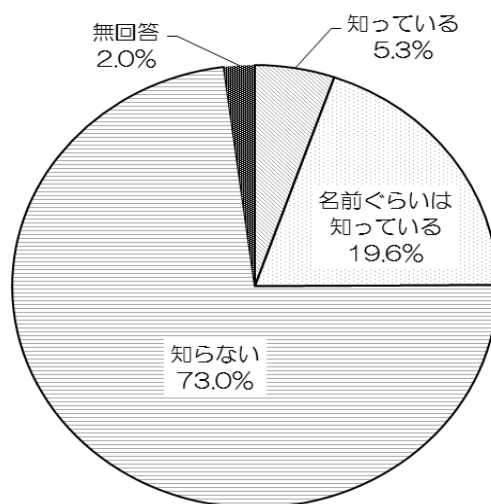
「知っている」「名前ぐらいは知っている」と回答された方が全体の34.0%となっています。

前回調査では、地域福祉推進計画の前身である地域福祉計画や地域福祉活動計画についての認知度を確認しましたが、微増しています。

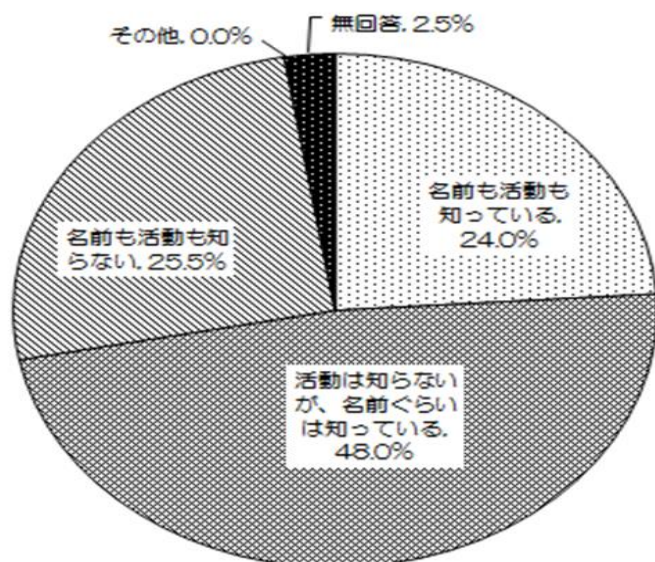
《参考》 前回調査回答（問 29）  
「地域福祉計画」



（問 30）  
「地域福祉活動計画」



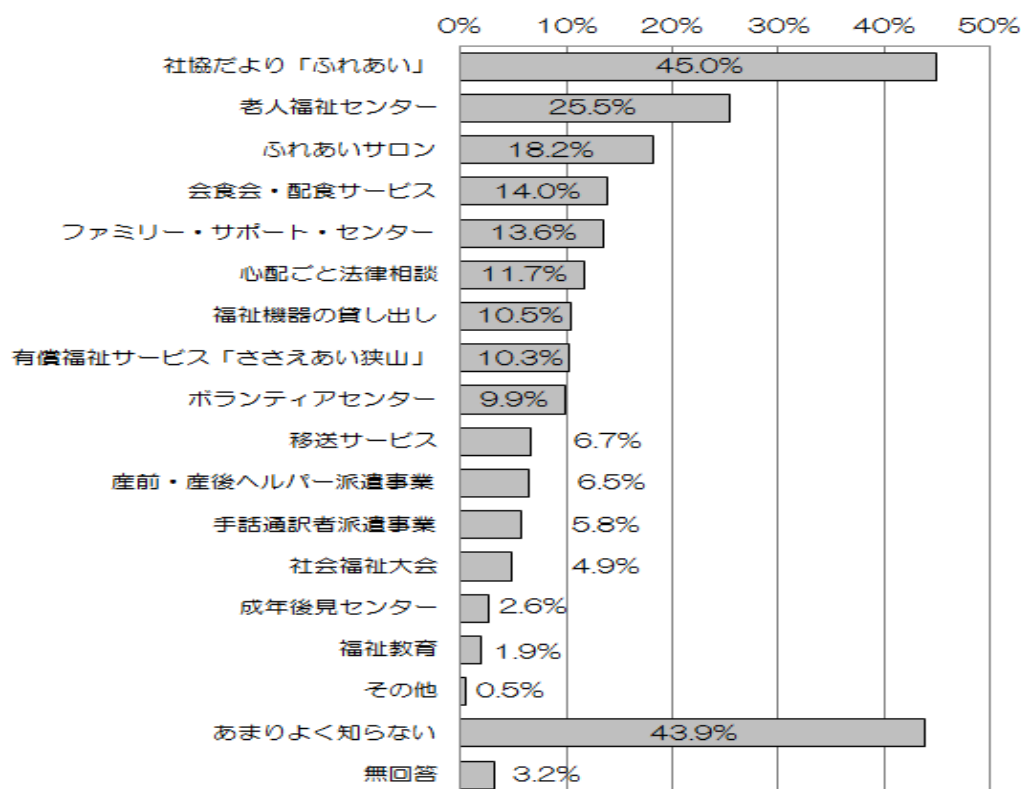
問 39 あなたは、社会福祉協議会という名前や社会福祉協議会の活動を知っていますか。



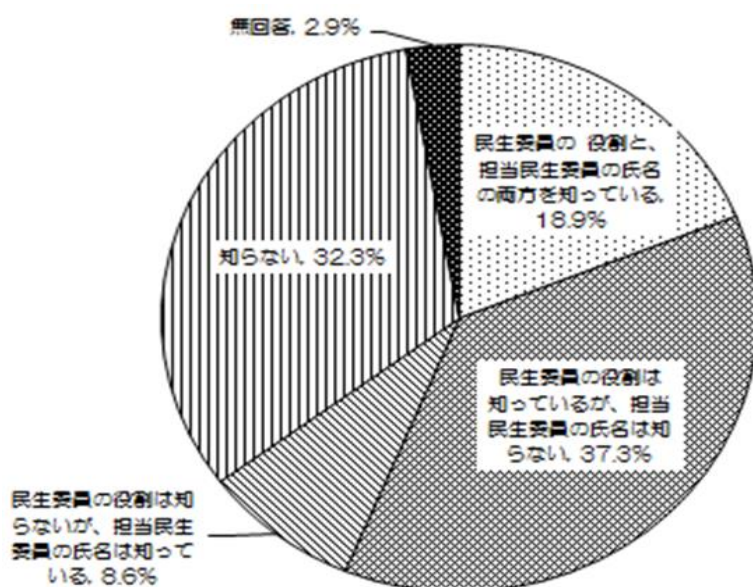
「名前も活動も知っている」(24.0%)、「活動は知らないが、名前ぐらいは知っている」(48.0%)と、社会福祉協議会の名前は知っているという方が全体の約 7 割強となっています。

前回調査では、社会福祉協議会の活動を「あまりよく知らない」という方が多かったため、まだまだ周知が必要です。

《参考》 前回調査回答 (問 36)



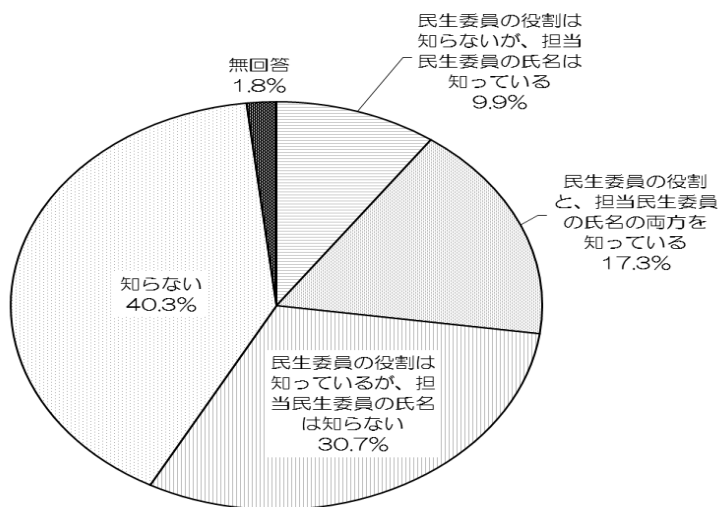
問 40 あなたは、民生委員の役割や担当民生委員の氏名を知っていますか。



「民生委員の役割と担当民生委員の氏名の両方を知っている」(18.9%)、「民生委員の役割は知っているが、担当民生委員の氏名は知らない」(37.3%)と、民生委員の役割を知っていると回答された方は全体の56.2%となっています。

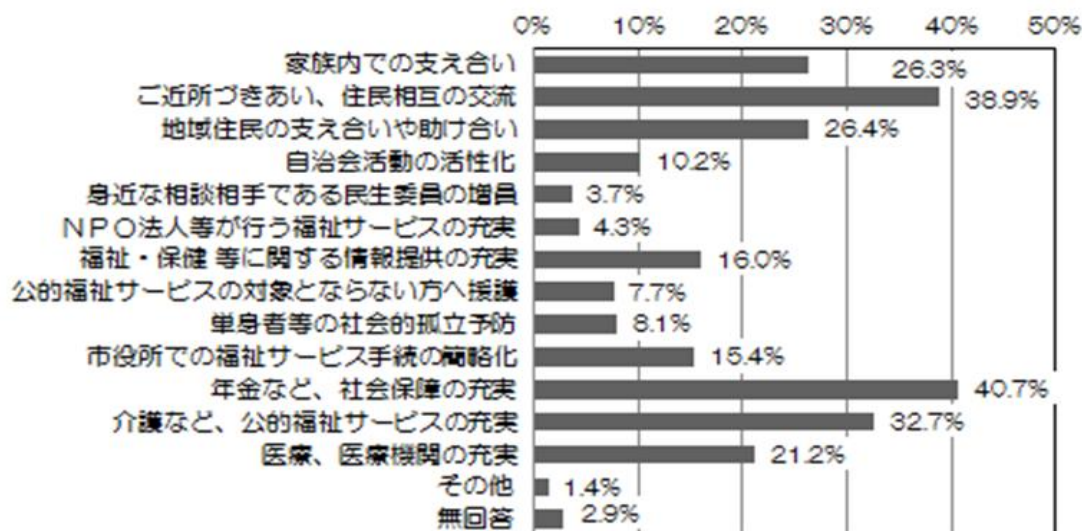
前回調査から、民生委員の役割を知っていると回答された方は増加しています。

《参考》 前回調査回答 (問 37)





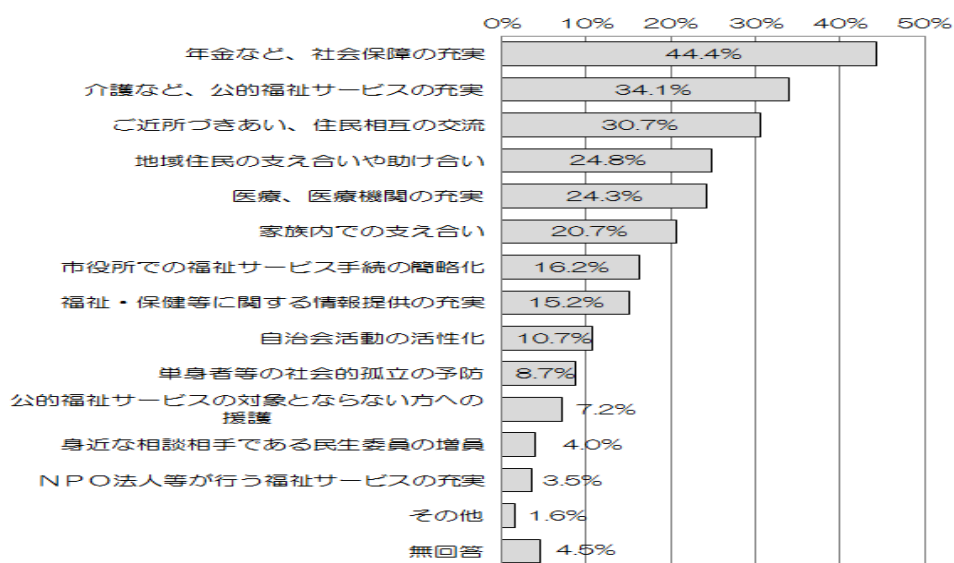
問 41 暮らしやすい地域にするためには、地域のあり方や福祉サービスをどのようにしていくことが必要ですか。あてはまるどころ（3つ以内）をお答えください。



「年金など、社会保障の充実」（40.7%）がもっとも高く、次いで「ご近所づきあい、住民相互の交流」（38.9%）、「介護など、公的福祉サービスの充実」（32.7%）となっています。

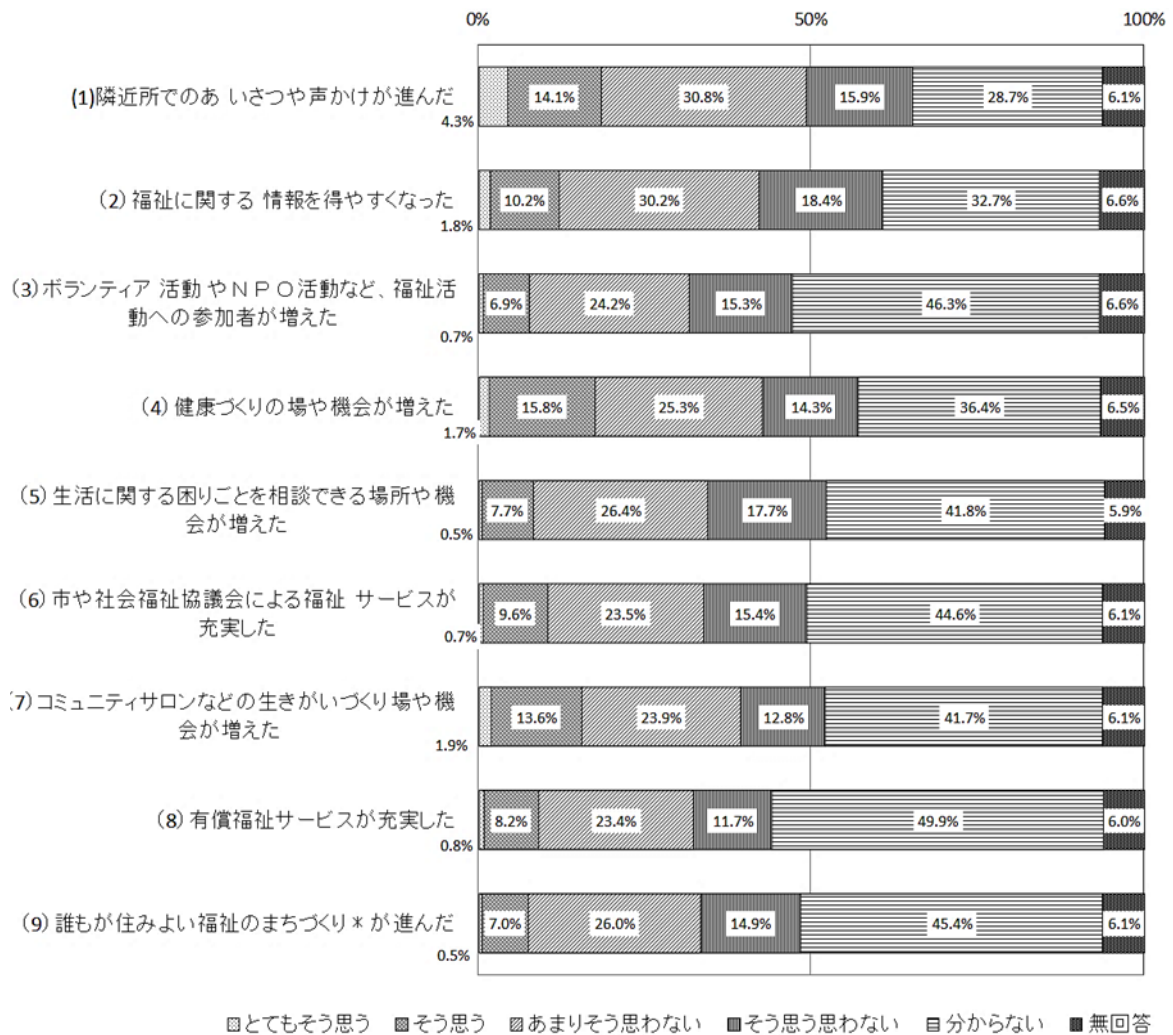
前回調査では「年金など、社会保障の充実」、「介護など、公的福祉サービスの充実」、「ご近所づきあい、住民相互の交流」の順となっています。前回に比べ、「ご近所づきあい、住民相互の交流」や「地域住民の支え合いや助け合い」といった回答が微増しています。

《参考》 前回調査回答（問 38）



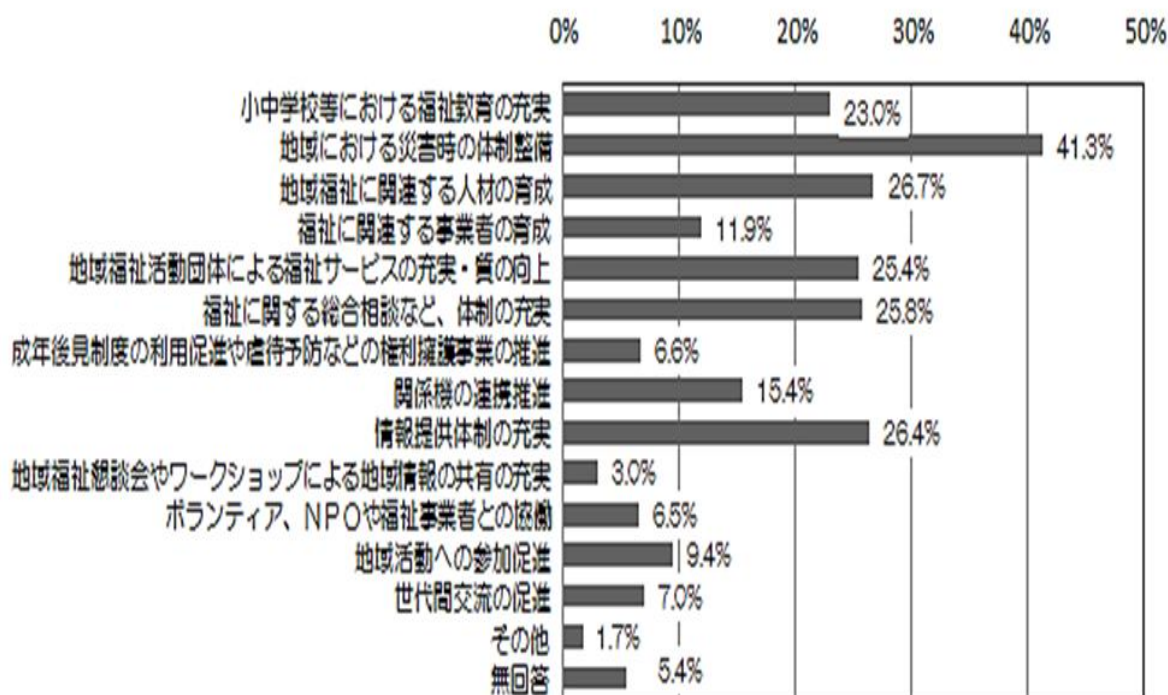
## (8) 地域福祉の推進状況に関すること

問 42 市と社会福祉協議会では、平成 27 年度からの地域福祉を推進していくための計画として「地域福祉推進計画」を策定し、地域住民・地域福祉活動団体・市・社会福祉協議会の協働による取り組みを進めています。計画策定前と比較して、次に掲げる取り組みについて、どの程度進んだと思いますか。



「とてもそう思う」、「そう思う」と進捗度が進んだとの回答が、「隣近所でのあいさつや声かけが進んだ」(18.4%)、「健康づくりの場や機会が増えた」(17.5%)、「コミュニティサロンなどの生きがいづくりの場や機会が増えた」(15.5%)で多く見受けられました。

問 43 今後、地域福祉を充実させるために、市や社会福祉協議会が優先的に取り組むべきものは何だと思えますか。あてはまるどころ（3つ以内）をお答えください。



「地域における災害時の体制整備」（41.3％）がもっとも高く、次いで「地域福祉に関連する人材の育成」（26.7％）、「情報提供体制の充実」（26.4％）、「福祉に関する総合相談など、体制の充実」（25.8％）となっています。

## (9) 自由意見

問 44 その他、「地域のつながりと支え合い」を高めていくためのご意見や、ご提案等がありましたら、ぜひご記入ください。また、アンケートの方法や内容等についてのご意見や感想がありましたら、ぜひご記入ください。

### 主な意見

- つながりにはまず「あいさつ」からだが、若い世代で「あいさつ」ができていない人が多い。
- 災害時こそ地域の本来の姿が現れるので、色々なことを想定して、つながりをつくることが大切。
- 参加しやすいように、負担の少ない自治会活動へ、時代の変化とともに変えていくことが必要。
- 毎日が仕事や子育てで忙しく、福祉の対象となる家族がいないので、地域について考える余裕がない。
- どのような活動が地域であるのか分からないので、広報の仕方に工夫をしてほしい。
- どこに行けば必要な情報が入手できるのか分からない。
- 学校教育の場でも「地域のつながりと支え合い」を強く意識させる必要がある。
- 周囲に活動をしている人がいないので、どう参加したら良いのか分からない。
- 人のつながり・交流の中心に社協があってほしい。
- 相談しやすい環境と体制の確保が必要。
- 元気な高齢者の活躍の場を更に広げる必要がある。
- 市には人口減少対策を考えて、地域の衰退を防いでほしい。
- 活動している人はまだまだ限られた人なので、熱心なリーダーの発掘や育成を社協で進めてほしい。
- 誰でも入りやすいコミュニティースペースがあると良い。
- 福祉バスや巡回車のような交通手段の充実を図ってほしい。
- アンケートの枚数が多く、誠意のある人しか書かない偏った回答になってしまうのではないか。
- アンケートが地域のことを考えるきっかけとなった。

## 1 地域住民相互のつながりを深めることに関すること

### ① 地域住民相互での助け合いに関すること

#### (ア) あいさつに関すること

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 昔と違い「自分が良かれ」と思ったことが相手には迷惑だと思われることがある。相手がある事なのでその点は難しい。相手に対して気を遣ったり、向こうがどう思うかとか考えたりすることがわずらわしい時もある。「地域のつながり」大切だと思うので、<u>あいさつなどできる限りの最低限な事は努力し続けていきたい。</u></li><li>● <u>つながりは先ず挨拶からではないか。</u>私の故郷では知らない子供でも相手から先に声が出る。狭山市も長い目で見て本気で取り組むべきだ。</li><li>● <u>最近の若いお母さんが挨拶できない人が多いです。</u>悲しいことです、寂しいことです。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 基本的に<u>小中学生、若い世代が挨拶ができない。</u>狭山市に来て一年たつが、若い世代が挨拶できない理由は大人がしっかりしていないからだ。平気で信号無視をする。挨拶をしても返ってこない。普段からできないのに<u>災害が発生したら助け合えるものもできない。</u>小さなことであるがその意味は大きいと考える。地域社会で些細な事から言い合えることが大事だと思う。</li><li>● 毎朝、児童の通学見守りをしていますが、<u>子供たちの挨拶がありません。</u>毎日顔を合わせる人が相手ですから、元気な声が利きたいものです。もっと家庭でも学校でも指導が必要です。</li></ul> |
|--|--|

#### (イ) 災害に関すること

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● 災害などが起きたとき日頃から近所付き合いを良くして、一人一人ができる最大限のことをして、行政もできる限りみんなの為になるように、<u>色々なことを想定して心得ていけば意外とみんなの為になるかもしれません。</u></li><li>● <u>避難所とされているところの整備が最重要課題</u>と思います。課題はトイレ、水。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 災害発生時の対応として、特に「一人住まいの高齢者宅」「身体障害者宅」などへの<u>想定対策がどのように考えられているのか見えてないので心配。</u></li><li>● 国内で起きている大きな災害があり、テレビなどで見て知っているのに、<u>災害時における地域体制整備の必要性はかなり高まっている</u>と思います。市をあげての取組みがあってもいいと思う。</li></ul> |
|--|--|

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私の居住地では、東中が廃校になり、防災では大きな不安を感じます。<u>自治会もないので地域の行事にも参加できない、防災訓練も自治会単位なので参加しようがありません。</u>どうすればよいのか万一のとき不安です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>災害時こそ地域の本来の姿が現れる</u>と思います。市民に丁寧な行政が行われてこそ市民にも余裕ができて支えあいが可能になるのではないのでしょうか。</li> </ul>
---	--

### (ウ) 自治会・民生委員に関すること

<ul style="list-style-type: none"> <li>● やりたくない自治会活動、でもこれらを我慢して経験すると地域のことがわかり、つながりも生まれる。そして世代を超えた交流も生まれると思う。今後子供が大きくなると<u>地域との関わりが薄れてくるのが不安</u>です。</li> <li>● <u>自治会は必要ですが、活動が負担</u>になります。高齢化に合わせて行事・活動も変化が必要です。</li> <li>● 自治会や民生委員などの役割をもう少し明確にし、必要最小限にすべき。災害や単身世帯の把握や班内へのフィードバックのシステムが必要。</li> <li>● 自治会活動などの身近な地域活動への参加から「<u>地域のつながりと支え合い</u>」が始まると思います。</li> <li>● 地域内での<u>スポーツの交流を自治会で</u>作ってほしい。</li> <li>● <u>働く世代が積極的に参加運営できる自治会体制</u>が望ましい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>自治会を辞めた場合のデメリットやメリット、辞め方</u>とかを知りたい。自治会に入らなくてもよいならすぐにでも退会したい。</li> <li>● 自治会の役員、班長の担当が回ってくるが大変負担である。解決策は自治会を退会する以外はないのか。<u>自治会に入会する・しないは自由なのか、入らないデメリット</u>を知りたい。</li> <li>● 自治会の役員の数、私共高齢者になり希望としては会費を納め脱退をしたい。<u>他の地区ではどうしているのか</u>知りたい。</li> <li>● 自治会参加と言われるが、高齢化を理由に脱退していく傾向があるようです。もっと<u>参加しやすい体制</u>ができるといいのですが、自治会に入れなにかという市への問い合わせに「衛生費を払えばゴミも出せるので」という答えがあるというが、如何なものでしょうか。</li> <li>● <u>若い人たちが気楽に参加できるような自治会作り</u>。</li> </ul>
--	--

- 高齢化の時代、自治会活動も負担になって来ました。ささえあい、つながり必要なことは十分承知していますが、もう少し自治会の内容を考えて時代に合わせて変化することが必要ではないでしょうか。
- 地域転入者が自治会に入らないケースが多い。地域福祉の重要性を理解してもらうために、啓発活動が必要です。日常から声かけ戸別訪問など地域の中から福祉行政委員として持ち回りで活動できないだろうか。
- 自治会（すなわち地域住民）への働き方が少ないような気がします。もっと福祉に関することを地域に直接降りてきて話しかける方法がないものだろうか。月に一回自治会は集まりを持っているので、そこに来てせめて班長さんなどに福祉のことを語ってほしい。
- 単に地域と言われますが、自治会自体が市からの配布物や回覧物や募金の集金のみにあるようです。各自治会によって異なると思いますが、年々人間味が無くなるようで寂しく思います。
- 地元の古い人たちが自治会費などを掌握しており、お疲れさん会などわかりにくい食品の出費には疑問がある。参加費などを取り自治会費は使わないでほしい。
- 自治会に加入しているが、高齢化が進み班長などを引き受けない人も増え、退会したいと思っている。自治会の役員や民生委員は報酬等があるかもしれないが（民生委員はどうやって選ばれるのか・基準は何か、個人的な相談などとてもできないと思う）、自治会など無くして狭山市が市民に直接、配布物、情報などを知らせてほしい。班長会など忙しい中、時間を取られ大した内容もなく、皆自治会に不満があっても班長の順番が終わるまでの我慢と思い何も言っていない。
- 高齢化が進み、自治会の班長ができない人が増え、地域のつながりがギクシャクし始め、高齢者が住みづらくなるのではと不安だ。
- 自治会に入ることでご近所付き合いがもっと身近になるのでしょうが…。
- 自治会の役員などの活動で班長の負担軽減。住民の高齢化が進み若手の負担が多くなり、活動内容も高齢者はかなりの負担がかかり、自治会に入りたくないとの意見が多くなってきた。役員がやりたいことを押し付けるので無く、高齢者を含むことに変化しなければと思う。足りない所は公的サービスで。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 近所に一人暮らしの高齢者がいて大変不安を感じる時がある。手助けは可能な限りしているが、<u>民生委員にもっと見守りをして頂きたい。</u></li> <li>● 私は障害者としてボランティアや行政に世話になっています。民生委員の方々の中には、単に名誉職と考えている人もいます。始めにキチンと<u>意識教育</u>することが大切です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 関西から引っ越してきて、決まりごとの多いこと、年取った老人には冷たいような気がする。自分は自分、他人のことは知らない全部そうだとはいわないが<u>雰囲気が悪い暗い。</u>そのため<u>民生委員を増やしてほしい。</u></li> <li>● 民生委員の方も<u>最初の年だけ顔を見せただけで何年も声かけ一切ありません。</u>とても不信感を感じます。</li> </ul>
--	--

## (エ) その他

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域のつながりと支え合いは勿論よいことだが、人によっては、<u>お喋りやコミュニティー活動への参加があまり好きではない人も</u>いる。そうした人が孤立せず済むような押しつけがましくなく、<u>労力や時間についてあまり負担にならないような地域・近所付き合いのかたちを考えるとよい</u>と思う。</li> <li>● 引っ越してきた当時、回覧板を渡すためピンポンしたら、「ポストに入るでしょ」と嫌な顔をされた。それ以来ずっとポストに入れていたが、<u>隣に住んでいながら付き合いがない。</u>こんな状態では何かあっても助け合えないと思う。<u>回覧板を顔を見て渡すことからの働きかけ</u>を市・自治会にお願いしたいと思います。</li> <li>● <u>人付き合いが苦手なので、地域のつながりはあまり必要が</u>➤</li> </ul>	<p>ない。<u>お金で解決できる業者が利用しやすい。</u>でも何かあった時につなぐりは必要そうなので悩ましいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今の時代なかなか地域のつながりは難しいのかな、と思う。この頃、昔みたいに近所付き合いがなく、今では<u>お金を払って子供を預かって頂くシステム</u>になっていたり、一昔前みたいに<u>気さくな感じにお付き合いができないのかと…。</u></li> <li>● 自分の近隣に残念なことに自分中心の方が多く、こちらからお世話して欲しいとは思いません。自分で<u>少し遠くても助け頂ける友達を大切にしています。</u></li> <li>● わが団地ではいろいろなサークルが活動しているが、それに参加できない高齢者などは「<u>支え合いグリーンハイツ</u>」のメンバーが声かけしているので良いつながりが出来ている。</li> </ul>
---	--



## ② 地域福祉への関心を高めることに関すること

### (ア) 意識啓発に関すること

<ul style="list-style-type: none"><li>● <u>家族に福祉や人の力を必要とする人間が今のところいないので、具体的には考えられない。</u>しかし、10年後は必要になると思う。その時に備えて何かやらなければならないが、<u>毎日が忙しくその余裕がないのが現状</u>である。</li><li>● <u>誰もが(生きがい)を持って生涯を生き抜くという感情をもてるように。</u></li><li>● <u>若い世代の人を「地域のつながり」にどう引っ張って込むか課題だ</u>と思うが、私も具体策はない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 家族内に福祉、介護職者がいます。母はまだ働くことができますが父は高齢者です。自分が都内勤務の為、<u>長年住み慣れた地域に安らぎを覚えますが、今回の調査で将来のことに目を向ける機会となりました。</u></li><li>● <u>地域福祉活動には、もっと興味を持ち積極的に参加しなければいけないのですが、参加できないのが現状です。</u></li><li>● <u>交流機会を増やすことで福祉への興味・関心を引く。</u></li></ul>
--	---

### (イ) 広報に関すること

<ul style="list-style-type: none"><li>● 「地域福祉」とは何か。どのようにして内容等を把握したら良いのか見当がつかない。<u>広報のような冊子にして、各家庭に配布してほしい。</u></li><li>● 「地域のつながりと支え合い」によって、<u>どのようなメリットがあるのか学ぶ機会があればよい</u>と思う。</li><li>● 各種福祉活動を受けている方は感謝していると思うが、それ以外の人にはどのような活動がなされているのか知らないのではないか。まず、市民に<u>活動の内容を受ける条件等をPR</u>してほしい。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 福祉サービスの情報提供にかかる<u>広報宣伝の方法に工夫が必要</u>と思われる。</li><li>● 地域福祉の啓蒙は、浸透していないように思えるので<u>機会を捉えて情報を発信して市民の関心と呼ぶようにすべきだ。</u></li><li>● 小生は広報も読んだことがない、小生のような無関心な人間に<u>どのようにしたら情報が届くか検討してもらいたい。</u></li><li>● 地域福祉は<u>どのような活動しているのかわからない。</u>もっと市民にわかり易くできないか。</li><li>● <u>文字だらけの広報紙やチラシは読みたい、見たいという気持ちになりにくい。</u></li></ul>
--	--

- 地域のつながり、支えあいをする為の情報が欲しい。たまに配られる広報紙以外にも地域の情報が分かるもの、防災メールのように、市内のちょっとした出来事や福祉サービス、公民館でやっているサークル活動などもメルマガにして、地域の活動をさらに身近なものにしてほしい。
- これから更に高齢化が進み、パソコン、スマホなどのデジタル通信の普及は進むと思いますが、そのデジタルについていけない人達へのアナログ的な手段も同じくらいに整えて、なるべく取り残しなく支えてもらい、自立しながら生活していける地域づくりを願いたい。
- 地域内の高齢化が進んでいるが、情報を知っている人、知らない人が分かれている様に感じるので、誰も知れるような対策が検討されると良いと思います。市報などでは老人は読むことが厳しいので、よい方法はないかなと・・・。
- 直接携わっていない私達にとってどの様に地域福祉が進んでいるのか分からないのが現実です。今まではこうで、今後こういったことをやっていくといったように具体的な形で市民に知らせて頂くことを望みます。
- どのような取り組みをしているのか見えない。まず「何処」に行けば取組等の情報が分かるのか周知すべき。地元への貢献意識が強いのは自営業の方ばかり。サラリーマン世帯が地域に目を向ける必要がある。公立の小中学校の同窓会の開催のサポートを市が行い、業種を超えた横のつながりを強化しては。
- 情報を提供する側やサービスをする側、受ける側がきちんとマッチするのは難しいかもしれませんが、そのような努力は続けてほしい。
- 狭山市地域福祉推進計画がどのようなものなのか、普段仕事人間なので分からない。市民が分かりやすいように伝達してほしい。
- ライフスタイル多様化の中で人と会わなくてもwebなどでコミュニケーションをとれる環境なども検討していく必要がある。
- 狭山市の福祉推進がどの程度進んでいるかわかりません。自宅に高齢者がいますが、情報などはチラシ程度です。
- 74歳の女子ですが、狭山に来て42年、情報がわかりにくく思います。きめ細やかにわかりやすくなればと思います。若者はあまり気にせず年寄りには難しい言葉はわかりません。

## (ウ) イベントに関すること

- |   |   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● <u>講演会とか硬いイメージの福祉イベントではなく楽しく唄ったり、踊ったりできるイベントがあると参加者も増えて大きなつながりが出来るのでは。</u></li><li>● 「<u>怪我と弁当は自分持ち</u>」と教育された私としては、まずは自己責任（自立）であり、<u>優しさのある社会は必要だが優しすぎる社会は「甘え」を産むだけ</u>であり、<u>権利のみ声高に主張する社会になるのは困ります。</u>地方出身の団塊世代者のためにも「<u>〇〇県出身者の集い</u>」の場を<u>公民館で企画されれば、ふる里を通じての狭山での新たなコミュニティが始まる</u>と思います。福祉＝多くの人々の幸福、生活環境の安定・充足。気楽に行ける場として企画をすれば2回目以降は有志に企画運営させる。（会場の確保、申込みなど不明なため）</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● 私の住む地域の近くに水野児童館があります。小さい子供がいるので利用させていただいておりますが、広報などを見ると他の地区の児童館では参加したいなと思うイベント等がたくさんあります。しかし徒歩や自転車で気軽に行ける場所ではない。地域性などもあると思いますが、<u>どの児童館でも同じ内容・レベルのイベントをして</u>くれると子供も親も<u>楽しめると</u>思います。</li><li>● <u>子ども達を主役としたイベントにすれば、親同士も自然と交流ができる</u>と思います。</li><li>● <u>駅周辺でのイベントや美化（明るいイメージに）。</u></li><li>● <u>引っ越してきたばかりで何も分かりませんが、地域と交流を深めたいが小規模な地域のイベントがあると地域の方とつながる機会が生まれるのでは。</u></li></ul> |
|---|---|

## (エ) 福祉教育に関すること

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>● <u>小中高校でのボランティア活動体験など、親子で参加できるボランティア活動等、福祉に関する情報の発信の充実ができる</u>とよいのではないかと思います。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>● <u>小中学校の福祉教育が大切</u>と考えます。福祉活動は小さい時から大切と考えています。</li><li>● <u>我々世代はもとより、学校教育の場においても「地域のつながりと支え合い」を強く意識させる必要もある、</u>と感じている。</li></ul> |
|---|--|

## (オ) その他

- 私の住む地域はつながりを持ちたいと思える地域ではない。子供が学校へ行けなくなった時も変なうわさを流されいやな思いをした。近くに住む義理の両親にもいやな思いをさせられた。
- 新興地に住む私には、地域のつながりは重たく感じる、プライベートも無くなりそうで、つながりは不要です。
- 隣の人との付き合いもない。斜め前の人がどんな人かもわからない。このような状況で地域福祉といわれても難しい。プライベートもあるし何かと難しい。
- 今までの生活の延長線上に老後があるので、個人の考え方を重要にし、あまり深入りしない方が良くと思います。どんどん住みづらくなったように思います。
- 弱者にやさしい地域になってくれればよいと思います。他人を非難ばかりする人がいる地域はこの先心配です。
- 自分は仕事をしており、親も元気なので実際、福祉に関して身近にあまり考えていませんが、親も高齢になるので、もっと考え実行しなくてはと思っています。
- ここ数年、福祉系（ボランティア、民生委員、困窮など）の仕事をしていますが難しいです。仕事では地域のつながりを高めるには？とかやっていますが、一住民としては、地域には興味ないです。理由は必要性を感じながら、地域に頼らなくても、生活出来るから。（でも保育所や老人系サービスは必要だと思っています）・・・。そこまでの交流はないので出来ません。このくらいの貌を知っている程度の付き合いが楽で良いです。密になると面倒くさいです。
- 共働きの家庭が増えているので、あまり負担なく地域のつながりが出来るようにしてもらいたい。
- 地域活動は必要だと思うし、参加してみたいと思いますが、子育て、仕事などで参加できない。また周囲に活動している人がいないので活動が分からず気軽に参加できない。市内の会社などを巻き込んで職場単位で参加など考えたら如何でしょうか。
- 「地域のつながりと支え合い」よくわかりませんが、自分自身が迷惑をかけないように日々心がけています。高齢化社会に向かってどのように努力できるかやはり迷います。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私の自治会の班は子供も成長、全員外へ出ていき老夫婦のみの所帯となっている。空き家もありこの先の生活に不安を感じている。このような状況を理解して福祉活動を目に見えるように続けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引越しをしてきて半年も経過していないので狭山市の「地域福祉」についてわかりませんが、<u>少しずつ交流を図れるようになっていきたい。</u></li> </ul>
---	--

### ③ 地域福祉活動への参加に関すること

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日の生活の中で<u>近所付き合いが良好なことは大切です。</u>子供の見守りをして下さる地域の方等に感謝しています。ただ、現在子育てと仕事の両立で地域や子供会、学校の役員などを受けると手が回らず、子供に留守番をさせたり、疲れて世話ができませんなど本末転倒な状況になります。<u>地域の活動は子供に手がかからなくなってから、やりたいと思います</u>が当番のようになっていてどの家庭も<u>厳しい</u>と思います。もう少し<u>自由に参加</u>できるとよいと思います。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「<u>地域のつながりと支え合い</u>」の必要性は十分認識しているが、<u>仕事を優先して活動できていない。</u>今後は年金生活となることから元気で長生きできるかが課題。健康長生の為にも「地域のつながりと支え合い」とのかかわりを考えて参加したい。</li> <li>● 地域の人達が重要ではไม่ใช่しょうか。<u>交流の中心に社協があってほしい。</u>色々な活動をどうやって地域住民に知らせていくか。広報の仕方、<u>なるべく多くの参加できるように住民活動を細分化</u>していく。</li> </ul>
--	--

## 2 地域住民の幸せを高めることに関すること

### ① 心身を健やかに保つことに関すること

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私自身は家族や皆さんに迷惑をかけないよう歳を重ねるように願っています。<u>趣味を持ち、できる限り多くの人との仲間作りを心掛けています。</u>そしてけがをしないように。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入間小を解体したらそのまま。「わいわい」を解体したらそのまま。公園がない。ボール遊びは駄目では子供が遊べない、<u>体力づくりにつながらない。</u>有効に使っていただきたい。</li> </ul>
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域のボランティア活動も大切だが、<u>医療、介護の公的</u> ↗</li> </ul>	<p><u>サービスを後退させないで充実を求める。</u></p>
--	-----------------------------------

## ② 相談・連絡に関すること

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域住民の世代の差やライフスタイル等が違うこともあるので地域のつながりと支え合いを強化するのは難しいと思う。何か<u>困っていること等の相談も気軽に電話やインターネットで対応できるとよい</u>と思う。<u>情報の貧困者にはコミュニティソーシャルワーカーが支援できたら</u>と思う。</li> <li>● <u>どんなに良い活動や制度を作っても、その情報が必要とされている対象者にいきわたらなければ無意味</u>に思う。困った時にどこに相談したらよいのだろうと思い、インターネット検索が可能な人ばかりではないはず。</li> <li>● とにかく<u>弱い人間（税金関係、無収入、無職）</u>に対して特に<u>狭山市は厳しい</u>。弁護士などにも相談に行ったが他市、他県では自然に受け入れていることをなかなか受け入れてくれない。これでは余計狭山市から出ようという話を周りで良くする。法律や規則も大事だがもう少し弱いものの味方をしてほしい。</li> <li>● 必要とするときすぐに対応してもらえる様に<u>相談しやすい環境と体制の確保が必要</u>です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● とにかく介護保険、障害自立、医療、保健所等窓口がそれぞれになっている。<u>社会資源を丸ごと理解し、説明できる相談員が必要</u>だと思います。（必要である人に行き届いていない社会資源のフォローが地域では出来ません。）その整備が整い住み易い地域だったり、ボランティアがチョットした電球の交換をしてあげたり、雨の日が続くときの買い物を手伝うとか、車いすの方の外出の介助ができるシステムがあると望ましいです。例えば電球を交換に行った時、独居の方で食事もしていない、脱水症状が見られた時、ボランティアが連絡すべき先を知っていないと<u>ボランティア精神だけでは出来ません</u>。いつもと違う？と気づける<u>地域の人がつなげる先の保証</u>もしていくことが大切だと思います。</li> <li>● 仕事をしながら子育てをしている。独居で介護3の義父がいるため夫婦別居している（施設やヘルパーさんにも協力してもらっていますが）。<u>働き盛りの世代でも安心して住める街</u>にしてほしい。</li> </ul>
---	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>困っている人に対して過剰にならない程度に必要な最低限、手を差し伸べればよい。</u></li> <li>● <u>共働きの為地域の情報などが全く入ってきません。どこに相談すればよいのかもわかりません。そのため子供が持てません。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>柏原地区は商店が少なく、買い物、銀行、病院等に行くのに車がないと動けない状態です。高齢になり子供（障害者）の面倒を見きれなくなります。夜中に具合が悪くなったときどこに連絡すればよいのか悩みます。そういうときの為の手助けをしていただければ安心して老後を過ごせそうです。</u></li> </ul>
--	--

### ③ 特に支援が必要な世帯の見守りに関すること

<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>認知症発生者を抱える家族に対する地域社会の支援のとりくみ。</u></li> </ul>	
--	--

## 3 地域福祉活動の輪を広げることに関すること

### ① 地域福祉活動の育成に関すること

<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>健康産業を推進している会に所属していますので予防医学のことや高齢化における健康センターやビジネスセンターを計画しています。地域はもっと変わらないといけないと思います。地域の人達に喜んでもらえることが必要です。</u></li> <li>● <u>人材育成など時間がかかることはやめてほしい。</u></li> <li>● <u>元気な高齢者の活躍の場をさらに広げる。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>各地域で活動を推進できる熱心な指導者の発掘と育成を社協で進めて行くことが重要です。</u></li> <li>● <u>元気な退職者が介護士不足や多忙な場合、講習などを受けて介護士さんのお手伝いが出来ればと思います。退職者も年配者なのでコミュニケーションがとり易いでしょう。</u></li> <li>● <u>今後は福祉に関する人材の育成が必要だと思う。多くの方を募って活性化して欲しい。</u></li> </ul>
--	--

### ② 地域福祉活動の輪を広げることに関すること

<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>活動している人はまだまだ限られた人が多いように思っています。支え合い等まだまだ</u> ➔</li> </ul>	<p><u>かなと感じています。みんなどのようにしたらよいのか迷うところがあります。</u></p>
--	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>コミュニティサロンは年配者だけでなく若い方も寄れるような雰囲気があるサロンが良いです。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 介護施設、サロンなどに郷土芸能、民踊、音楽バンドの定期的な公演などをしたらどうでしょう。</li> <li>● 1) 各種活動の頻度を高める。 2) 予算獲得の活動等。</li> </ul>
--	--

③ **地域福祉活動団体への協力に関すること**  
(意見なし)

4 **その他**

① **市への意見**

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 年配の方の一人暮らしが多く買い物の不便さ、家の周りの手入れなど、年金をもらいながらお金をかけられず、<u>台風の時など困っている方が多かった。</u>タクシーも使えず台風の時など周りが手助けをしながら協力したりとしています。仕事があったりと出来ない時もあり申し訳なく思っています。何か行政（市）の方でも何かあればと思います。</li> <li>● 「街」や家々の近隣のつながり、支え合いは何とか各自の努力でうまくいっても、市の役職にある連中がそっぽを向いているのでは市全体のつながりは全く高まるわけがない。<u>市職は「公僕」という精神が今は幻のように消えてしまっ</u>て、市役所に行くとみんな踏ん反りかえっているみたい。有難くも何ともない。</li> <li>● 有料の橋は意味がない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域社会の中でお互いが健康であること、生活を考える時、病院、学校、交通、水道、電力などはどうせ言ってもインフラストラクチャー。普通の町でOKと思うが、問題はショッピングセンター的な場所がない新狭山地区の駅までバス、帰りもバス又はタクシー（第1交通）利用。これは何故。マンション建設のみ急いでこれからは老人世帯が多くなっていく一方・・・？不思議で仕方ない。一番の願いはストアーの確立、または店舗。近くには農家も点在。タイアップして地域の自治会とで共同参画、公園の一部などで…？このころは福祉アンケートとは異なるが、いくらでもほかのことが出てくるので空白を利用させて頂きました。これからの協議会の活躍と発展を祈ります。</li> </ul>
---	---



<ul style="list-style-type: none"> <li>● 廃校になった<u>学校を有効活用</u>して欲しい。一般開放やその他利用方法があると思う。</li> <li>● 有害施策や通信などに対し、行政はもっと規制を強めていいと思う。<u>犯罪のない地域社会を作ることに力を入れていきたい</u>。</li> <li>● 入曽方面の道路の悪さ。一向に良くなっていませんね。40年前となんら変わってない所が多く残念です。</li> <li>● 市からのアナウンスが家の中にいても聞こえる程度の設備にしてほしい。</li> <li>● 入間基地に民間空路の乗り込み。</li> <li>● 騒音について特に飛行騒音について十二分なアンケートをとってください。</li> <li>● <u>人が住むこと（人口増加）ができていない、住みやすくして</u>ほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小笠原とのつながりを強化（狭山との関係がある事が知られていない）。</li> <li>● 狭山市に引っ越ししてきてまだ1年経っていませんが、住宅街など夜は真っ暗でびっくりしました。街灯は消えていたり、暗かったりで街灯をLEDに変更の予定と聞きましたが、一向に変わらず暗い街だと思えます。子供たちも危ないので送り迎えが欠かせません。<u>早急に街灯を明るくしてほしい</u>です。（入間川地区）</li> <li>● <u>地域活性化</u>の為何かすべき、特に七夕通り。</li> <li>● 狭山市駅東口・西口の寂れ方はひどすぎる。</li> <li>● 工業団地があるのに税金が高すぎる。</li> <li>● 市長が変わっても市が良くなったとは思えない。</li> <li>● 市の職員の多すぎる。訪問したとき暇そうにしている人がいる。</li> </ul>
--	---

## ② 社会福祉協議会への意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社協の存在だったり本当に福祉サービスの必要な人が社協情報すら知らないことのないように、<u>もっと社協の存在やできることを周知する</u>。</li> <li>● 社会福祉協議会、そのものが一体どういうものなのか一般的に分からないといったことが最も大きいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会福祉協議会の活動などのPRを自治会単位で定期的開催することを提案したい。市広報と同時配布される小冊子だけでは不十分。殆ど読まれていないと思います。</li> <li>● <u>社会福祉協議会の社会的評価</u>が知りたい。</li> </ul>
---	---

<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>社会福祉の募金などはよくありますが、どのように使用されているのか、また、活動内容をもっとアピールしても良いのではないかと思います。</u></li> <li>● <u>今現在、子育て中の生活世代であり、夫婦2人滋賀への共働きの時よりは地域との繋がりが大幅に増えたが、学童保育の定員の不足や近隣の空き地や交通などにより、常に<u>子供の成長とともに地域の子育て不安から、更に繋がりが必要と感じている。</u>ファミサポなど利用させてもらっているが、手続きや支払い方法、連絡方法など必ずしも使い易いとは言い難く、この子育て開始時、地域へのつながりを持ち始めた時期。<u>支えを実感できたら、今度は支え合いで支える方にも自然と移行していかれるのではないのでしょうか。</u></u></li> <li>● <u>「ファミサポ」というシステムを知らない方が多いのは</u> ➔</li> </ul>	<p><u>どうして？</u>また、「ファミサポ」の利用料金を「現金」ではなく「ポイント制」にして、他のボランティア活動のポイントと共通にして利用するとしたら、もう少し利用しやすいのでは（働いているお母さんが主に利用すると思うが、家計のために働いているのに、利用料として払うことにためらいが生じるような気がするのと、副業禁止の会社勤めの方々などはどうなの？という感じがします）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● このアンケートを通じて、社会福祉協議会のことを知りました。何も知らない自分に気づきました。他人ごとと思う自分でした。アンケートで<u>福祉について考える良い機会</u>でした。</li> <li>● 社会福祉協議会とは、自治会回覧で入会金をお支払いすることしか意識していなかったが、<u>もっと身近な活動を知りたい</u>と思います。</li> </ul>
---	---

### ③ 市・社会福祉協議会への意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1. 今、何が困っているのか？掘り下げて的を絞る。</li> <li>2. その項目をどう解決するのか。</li> <li>3. その時に費用がどのくらい発生(必要)なのか。 ➔</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>4. 期間軸がどのくらい必要なのか。</li> <li>5. 予算化のレベルを確認する。</li> <li>● 今後も市民全体の福祉のためにご尽力をよろしく願いいたします。</li> </ul>
---	--

### ④ 交流の場に関すること

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 狭山市駅、駅中、駅外、周辺の店舗充実（大戸屋等のよ ➔</li> </ul>	<p>うな老若男女行きやすい店に（年配の方も外出してもらう）。</p>
---	-------------------------------------

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 堀兼地区に定年になってから集まって楽しむ場所が少ない。特に女性の口癖は<u>赤坂公園をもっと高齡になっても行ける場所になれば良い</u>と思います。</li> <li>● 地域のつながりがなかなか作れないところに住んでいます。近くに<u>小さな公園でもあれば、世代を超えて交流する機会が生まれる</u>気がします。</li> <li>● 入曽は特にお茶を飲むような場所がなさすぎる。商店街もないような所なので、日頃（日中）<u>気軽に入るカフェのような飲食店の出店をしていただければ、近所の人達もそういう所で交流をとれる</u>と思うが土地の使用規制が厳しいとかあるのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご承知の通り高齡者が多いです。私は班長をしておりますが、26世帯の中で子供は0歳が一人です。75歳以上の方が10名以上います。<u>老人が集まって会話のできる所がもっとほしい</u>です。私のところの保育園は現在空いております。ぜひ使わせてほしいです。もちろん班長が責任を持ち、市には迷惑をかけないようにしたいと思います。空けておくのは防犯上よくないです。</li> <li>● <u>誰でも入りやすいコミュニティースペースがあるとよい。</u></li> <li>● チェーン店より地元の素材を売る八百屋や飲食店、カフェなど(おいしい狭山茶のカフェ)。</li> </ul>
--	---

## ⑤ 移送・交通に関すること

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齡になり病院通いが増えました。交通手段のない病院への通院のためタクシー利用になります。年金生活で一人暮らしで診療費は一割でもタクシー代が往復数千円かかります。<u>生きていく限り通院が必要な眼病のため、交通手段をもっと便利にしてほしい</u>と痛切に思っています。</li> <li>● <u>福祉バスの充実を、病院・買い物に利用。</u>所沢市や入間市と連携すると効率よくできるのでは。高齡者でも歩きやすい道路を。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齡化しているので16号線沿いの地域は<u>日常の買い物、医療関係の交通の便が良いとは言えないので充実して欲しい。</u></li> <li>● これから高齡化が進むので、<u>病院の送り迎えのサービス、歩行困難者や買い物難民の為の車のサービス等。</u></li> <li>● 障害者や高齡者など買い物や病院へ行くのが大変な方の為、<u>巡回車のようなものがあると助かる</u>と思う。</li> <li>● 買い物、病院、福祉施設などへの<u>足の問題対策の充実。</u></li> </ul>
---	--

● 核家族が増えた結果、若い子世帯との距離があり、足が不自由になると買い物に困ります。ところが宅配サービスに頼りきりになると人と接点を持たなくなります。一人でタクシーを使うのではなく、近所で数人乗り合わせて不安の無いような ➔

交通網を作っていくことが必要な場合があります。道々努力して歩いている人もいますが、座って休むことができるベンチをおくことも良いかと思えます。歩くためには休める場所を数か所近くに公衆電話設置されるとより良いこともあります。

## ⑥ アンケートに関すること

● 我が家の子供で脳障害で今リハビリしていますが、まだ一もう一歳なのに歩けない状況。でも幼稚園の受け入れはなく、保育園もパートだと待機児童がいる状況。色々な情報は、自ら調べたり聞いたりしないと入ってこない難しい世の中だと改めて思っていて、このアンケートは、どんな世の中に変わっていく一歩になるのか。忙しいのにこのアンケートをただ見ているだけなのか、と思っています。何はともあれ良い方向になることを期待しています。

● 紙での回答ではなくインターネットを利用したアンケートにしていただきたい。回答の集計も人手を使うより早いし経費節減になる。

● 夫婦二人暮らしだと地域のかかわりがありません。アンケートの内容が難しく具体策が細かく記載されているともう少し考えがまとまったと思う。

● アンケートの枚数が多い。

● アンケートには回答させて頂いたが、昼間は仕事をしているので、障害者手帳を所有はしているが、今までサービス関係のケアを全く受けたことがないし、どういう福祉事業をやっているか情報の提供がないのに、いきなりアンケートを一方向的に自宅に送付されてくるのは困惑と迷惑である。こういったことは自分が定年を迎えてから初めて実感、勉強するものではないかと思われる。

● 社会的には男性として生活しているが、戸籍は女性であるために性別の記入は毎回戸惑う。無記名で統計的に処理するとあるので気にする必要はないが、そういった人間も一定数いることを認識してほしい。

● 誠意の有る人だけが回答するアンケートとなり、偏りが生じると思えます。手法を考え直された方が良いと思えます。

● アンケート項目はもう少し減らして絞ったほうがよい。

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問42に関しては判らないことが多く、<u>日頃からの意識や関心が薄いのか</u>と反省しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンケートの<u>結果は公表されますか？その方法は？</u></li> <li>● このアンケートは、<u>地域福祉について考える良い機会</u>でした。</li> </ul>
---	---

⑦ **その他**

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域で元気に自活するには、病院へも交通手段が乏しく気軽に行けない、年金が少ないのでお付き合いも制限外出も出来ない、散歩も危ない道路が多い、公園も近くにない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治体の外部団体は、行政の天下り組織になりがちですので、<u>組織の若返りが必要</u>だと感じます。日和見主義の組織は要りません。</li> </ul>
--	--